

平成 29 (2017) 年度前期 学生による授業評価アンケート 分析報告書

平成 30 年10月 21 日

國學院大學

教育開発推進機構 教育開発センター

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

平成 29 年度前期学生による授業評価アンケート分析報告書の刊行に寄せて

教育開発センター長

柴崎 和夫

平成 28 年度後期実施の授業評価アンケート分析報告書が完成いたしましたので、皆様にお届けいたします。授業評価アンケートの分析報告書としては、これまでに刊行されたものと、基本的には同じになっています。

このような報告書がどのように授業改善に役立っているのかという、厳しい問いかけがあるのも事実です。そもそも授業評価アンケート実施それ自身にも、どのような意味があるのかという問いかけがあります。授業評価アンケートを実施する事がどのような成果を生んでいるのか、あるいは成果が出ていないのか、を検証する時期であると考えています。

さて、アンケート実施方法が完全 Web 化されて3回目のアンケート実施でした。いわゆる回答率は、残念ながら、漸減しています。回答率の向上には、授業時間内で教員が学生に回答を呼びかける（答える時間を取る）のが最も有効であることが判明していますので、今後も教員への呼びかけを続けるとともに、なにか工夫ができないか考えたいと思います。回答率を向上させることは、アンケートの有効性を生む第一歩となると、個人的には考えています。

毎回同じ事を述べていますが、教員が自身の授業内容・授業方法・授業計画の振り返りを行うときに、他者の目は大変重要です。それが、授業を受けている学生のものであるのですから、学生による授業評価アンケートは授業の振り返りに資する部分が一層大きいと考えられます。謙虚に分析報告書の結果を眺め、ご自身の授業改善、新たな授業計画作成に役立てていただきたいと思います。

授業評価アンケートは、学生の協力があって実施できています。協力してくれた学生への説明責任を果たすという意味でも、学生の評価結果、それを受けての教員の取り組み状況について、明らかにしていく必要があると考えています。繰り返しになりますが、どうぞ教員の方々は、分析結果を有効に利用していただきたいと思います。

目 次

平成 29 年度前期学生による授業評価アンケート分析報告書の刊行に寄せて	3
1. 調査の概要	7
1-1 調査目的	9
1-2 調査方法	9
1-3 調査対象科目	9
1-4 調査期間	10
1-5 回答率	10
1-6 回答の内訳	10
1-7 設問	11
2. 集計結果	13
2-1 設問別集計（開講科目の所属別に集計）	15
2-2 専任及び兼任教員の到達目標の達成度・満足度順位（ベスト30）	25
2-3 達成目標の到達度・満足度・授業外学修時間で見た教員の分布	32
3. 考察（1）設問間のクロス表分析	35
3-1 全体集計	37
3-2 学年別に見たシラバスの事前確認の状況（Q4）	38
3-3 教員の指示と学生の授業に対するかまえ（Q6 と Q10）	39
3-4 授業の進め方と到達目標の達成度合い（Q9 と Q13）	40
3-5 教員の所属別に見た学生への働きかけ（Q2）	41
4. 考察（2）本学学士課程教育の授業外学修時間の現状	43
4-1 学士課程全体	45
4-2 回答学生の所属学部別	46
4-3 回答学生の所属学科別	47
4-4 回答学生の学年・所属学部別	48
4-5 回答学生の学年・所属学科別	49
4-6 学生の授業に対するかまえと授業外学修時間	50
4-7 学生の授業に対するかまえと到達目標の達成度による分析	51
4-8 学生の授業に対するかまえと到達目標の達成度からみた学修時間の分布	52
5. 自由記述設問の検討	57
6. まとめ	61
資料編	67
集計データ	69

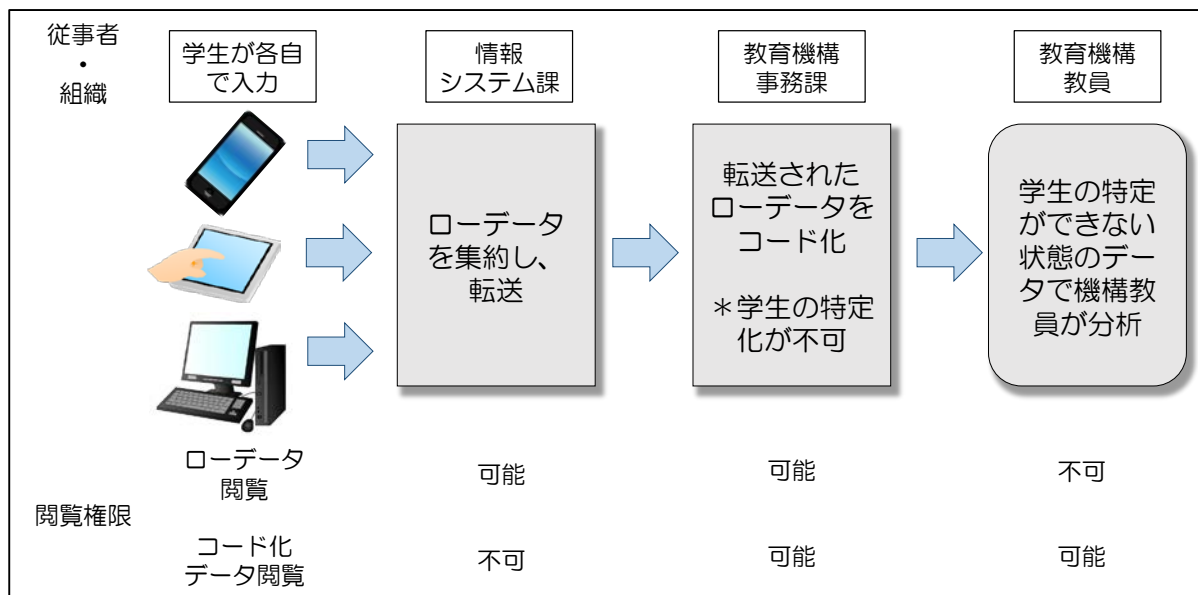
1. 調査の概要

1-1 調査目的

本学学生の授業に対する取り組みの実態を把握し、授業改善の基礎資料とすること、さらには基礎資料の活用により教員に自らの授業運営を振り返る機会を提供することで、学修効果を改善させ、本学学士課程教育の質保証を達成することを目的とする。

1-2 調査方法

- 本学の学生支援システムであるK-SMAPY を用いた WEB 上での実施
- K-SMAPY での実施に伴い配慮すべき学生に関する個人情報の管理については、教育開発センター委員会での議論に従い、細心の注意を払う体制を構築する。
- 具体的な調査手順、体制は、以下のとおり。



平成 29 年度前期授業評価アンケートの実施方法と各課職員及び教員の役割

1-3 調査対象科目

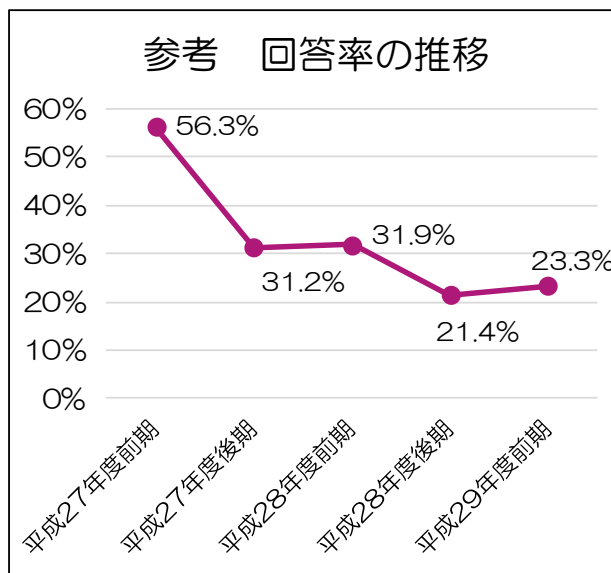
- 原則、全授業科目を対象とするが、下記の授業科目については、実施を見送った。
 - 卒業論文指導科目
 - 政治インターンシップ
 - インターンシップⅡ
 - 教育実習ⅠB（事後指導）
 - 博物館実習Ⅲ（実地見学）
 - その他、サマーセッション等の集中講義科目

1-4 調査期間

平成 29 年 7 月 6 日（木）～平成 29 年 7 月 27 日（木）

1-5 回答率

回答件数	25,256 件
履修登録者数	108,441 件
回答率	23.3%



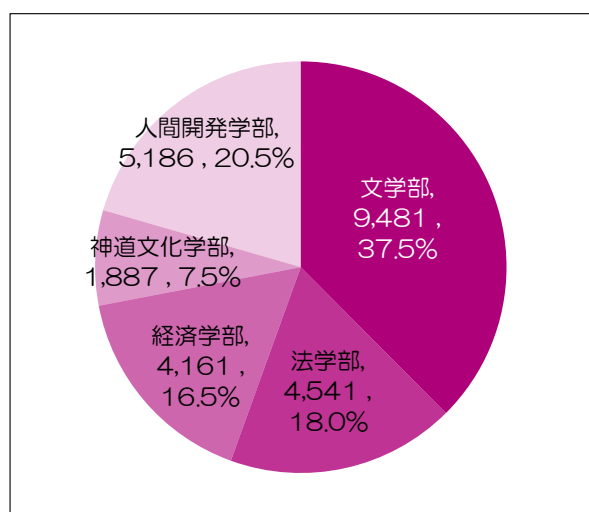
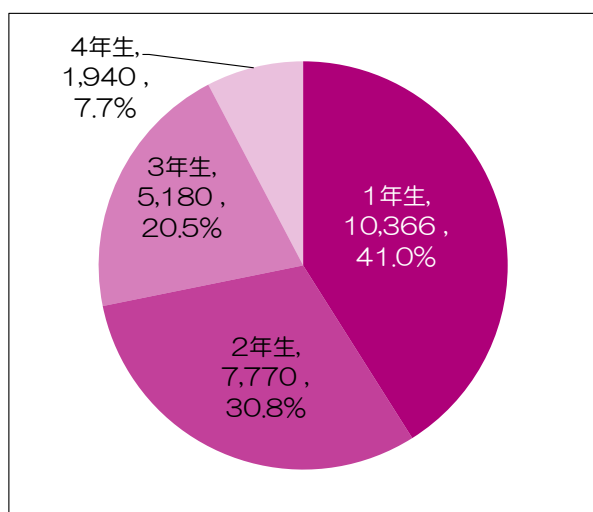
1-6 回答の内訳

回答した学生の学年

1年生	10,366 件
2年生	7,770 件
3年生	5,180 件
4年生	1,940 件

回答した学生の所属学部

文学部	9,481 件
法学部	4,541 件
経済学部	4,161 件
神道文化学部	1,887 件
人間開発学部	5,186 件



1-7 設問

平成 29 年度前期学生による授業評価アンケート設問項目一覧

設問 番号	設 問 項 目
1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。
2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。
3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。
4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。
5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。
6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。
7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。
8	1 回 1 回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。
9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。
10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。
11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。
12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。
13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。
14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。
15	あなたはこの授業 1 回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0 分から 300 分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95
16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。
17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。

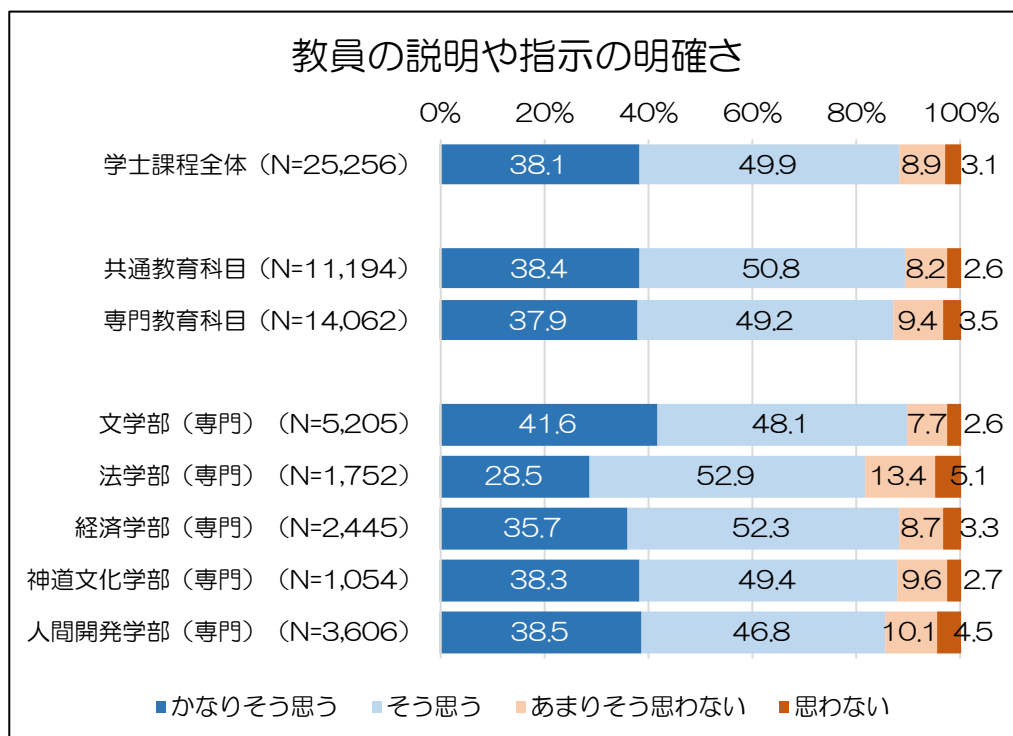
（注意）

- 設問 1～14 までは 4 件法の選択回答（必須回答）
- 選択肢は以下のとおり
1：思わない 2：あまりそう思わない 3：そう思う 4：かなりそう思う
- 設問 15 は実数値を 0～300 分の範囲内で入力
- 設問 16 及び 17 は自由記述形式

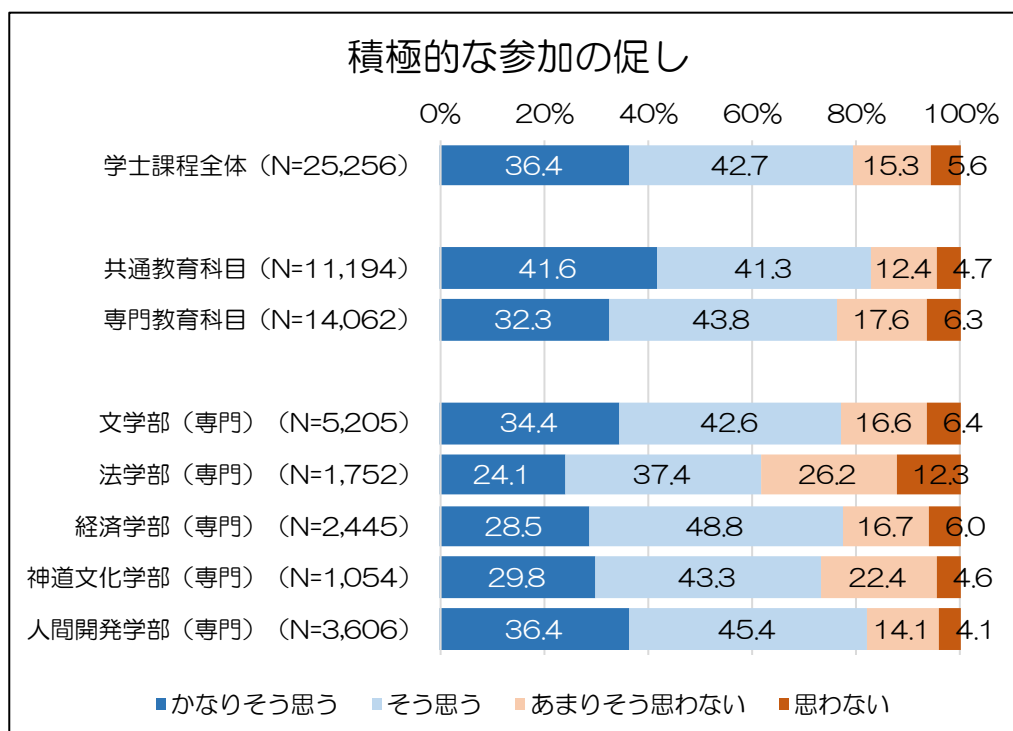
2. 集計結果

2-1 設問別集計（開講科目の所属別に集計）

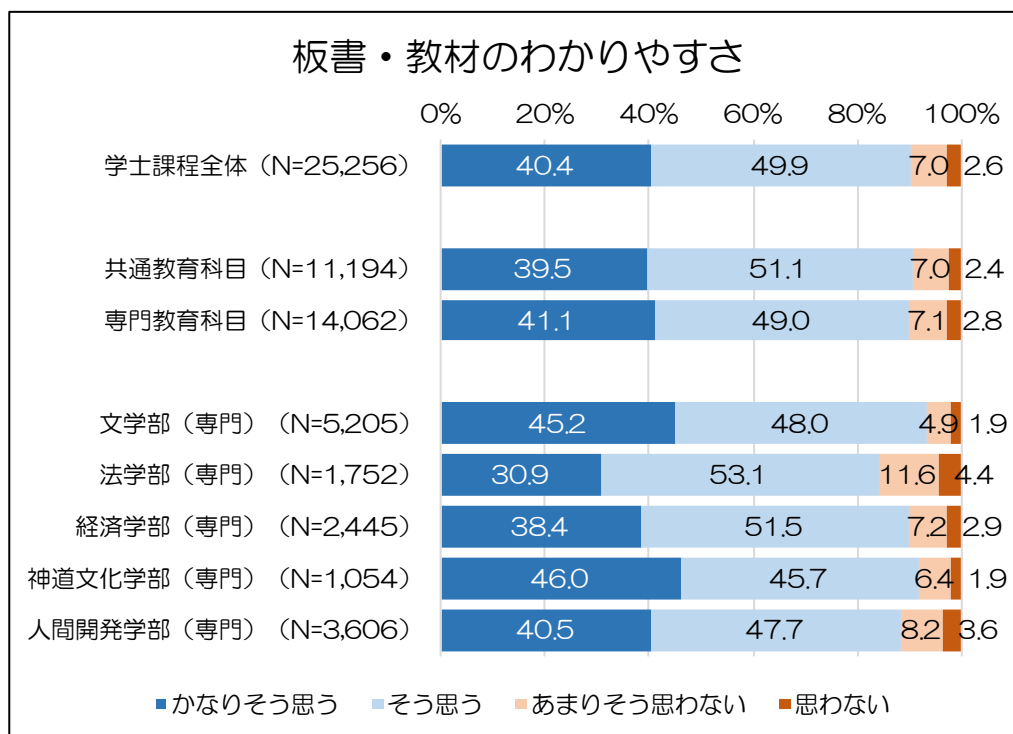
Q1 教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。



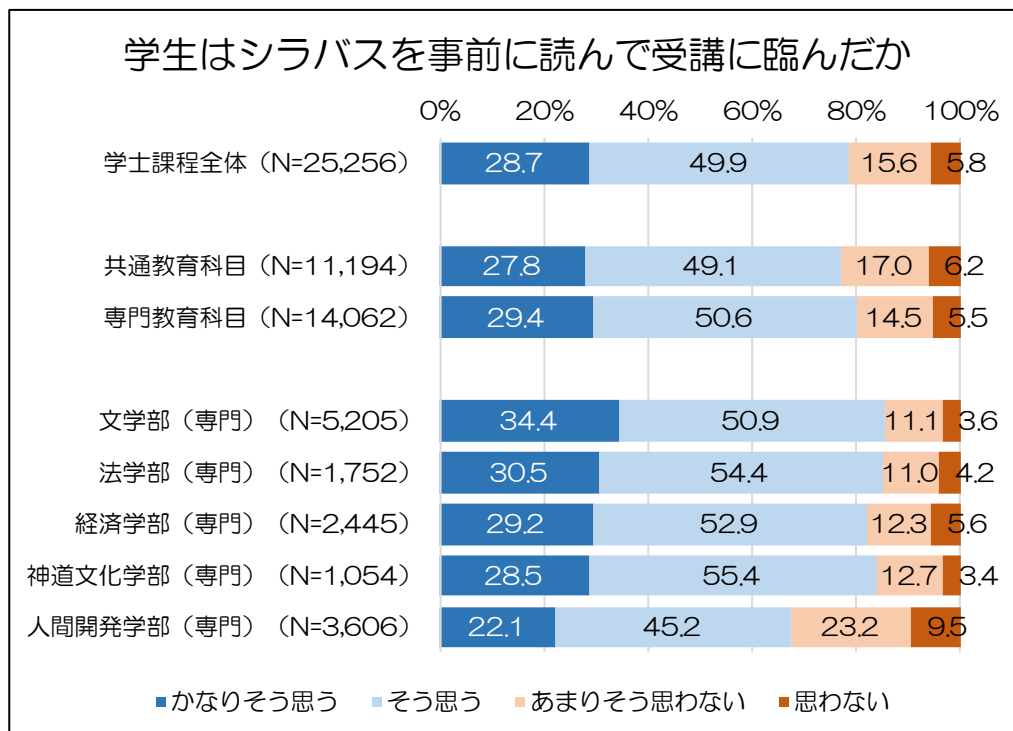
Q2 教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。



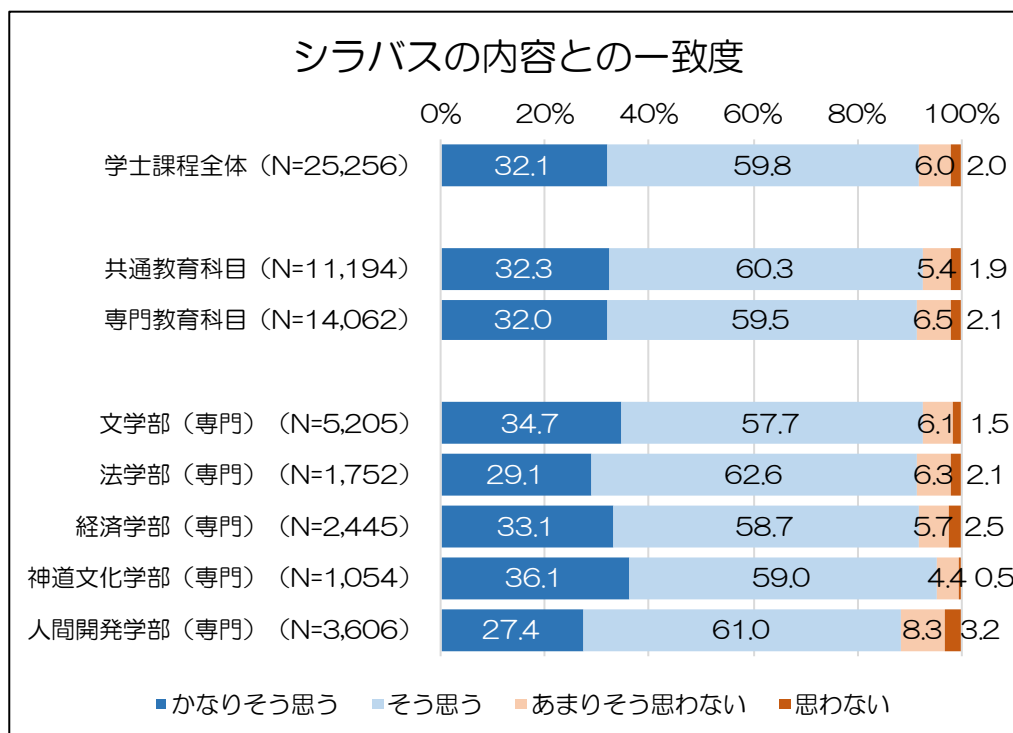
Q3 教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。



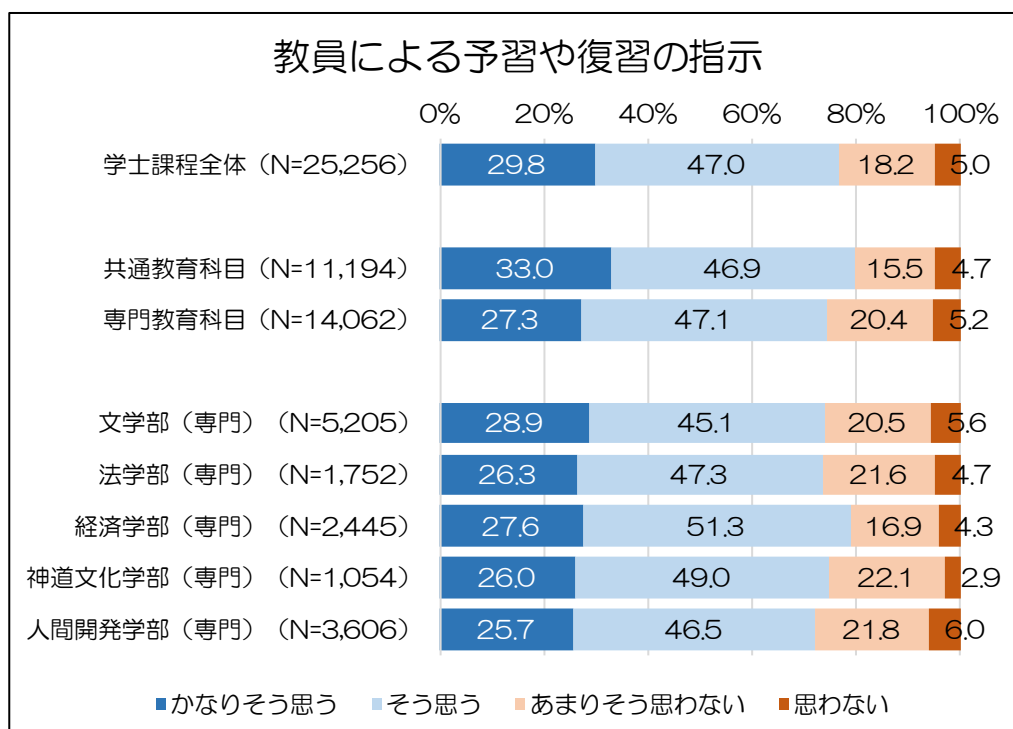
Q4 あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。



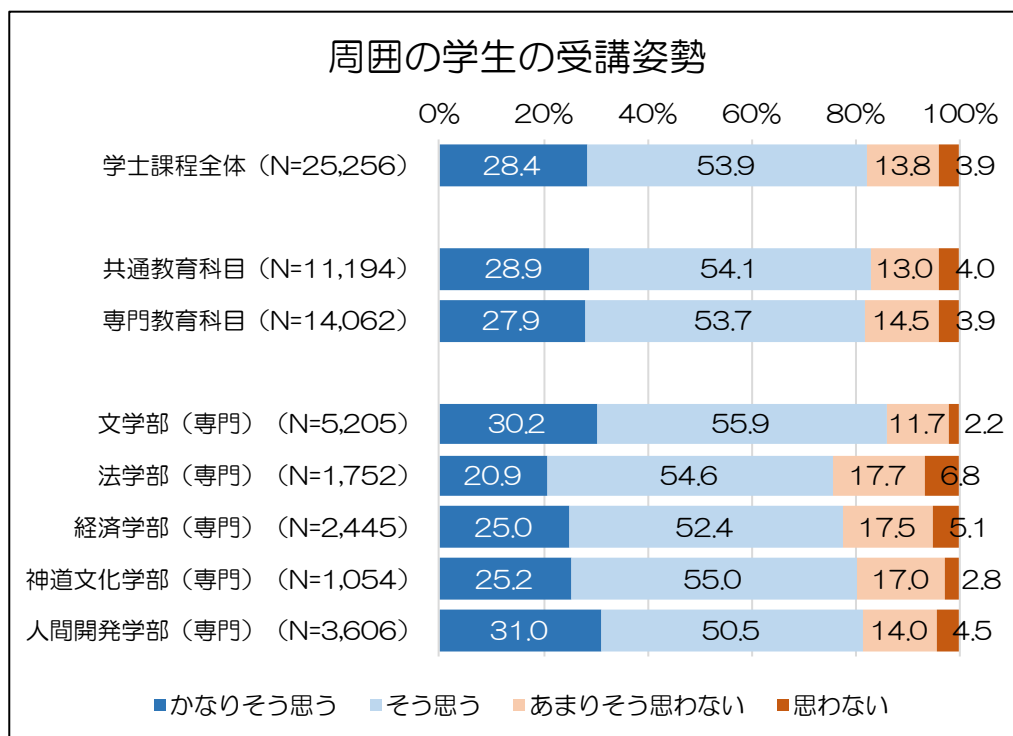
Q5 教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。



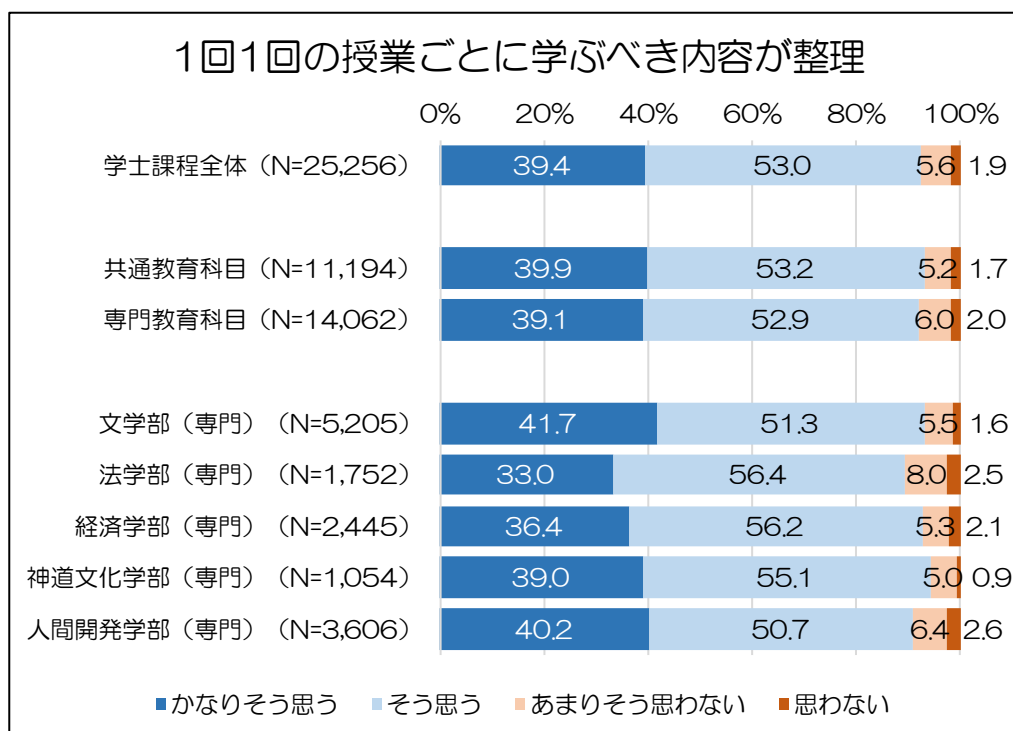
Q6 教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。



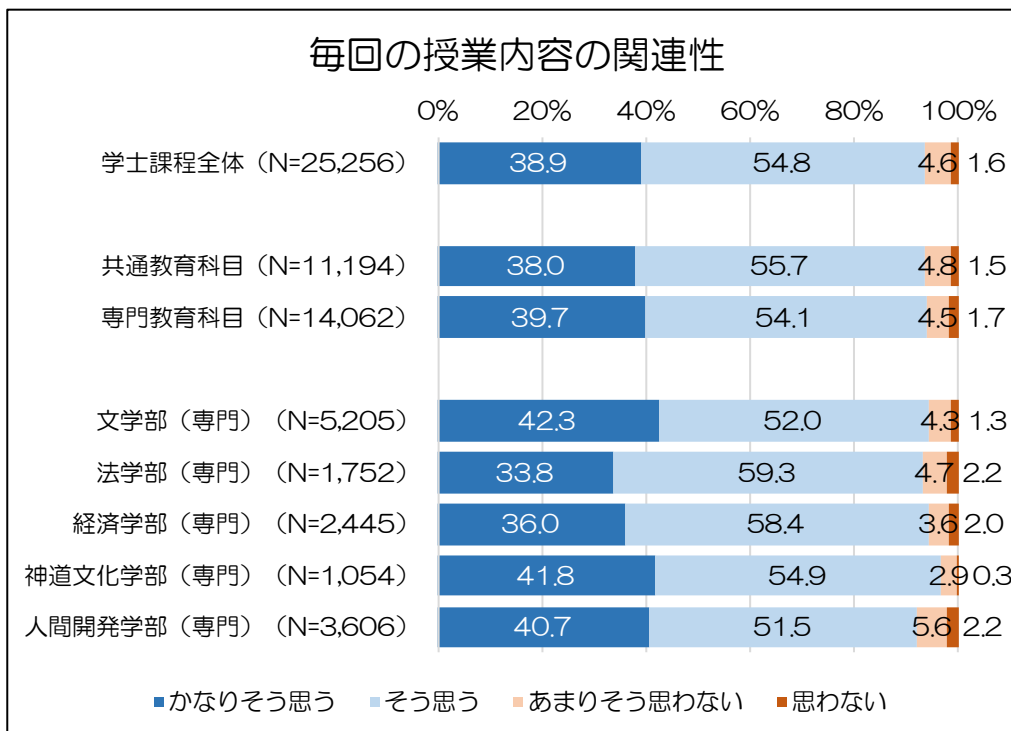
Q7 あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。



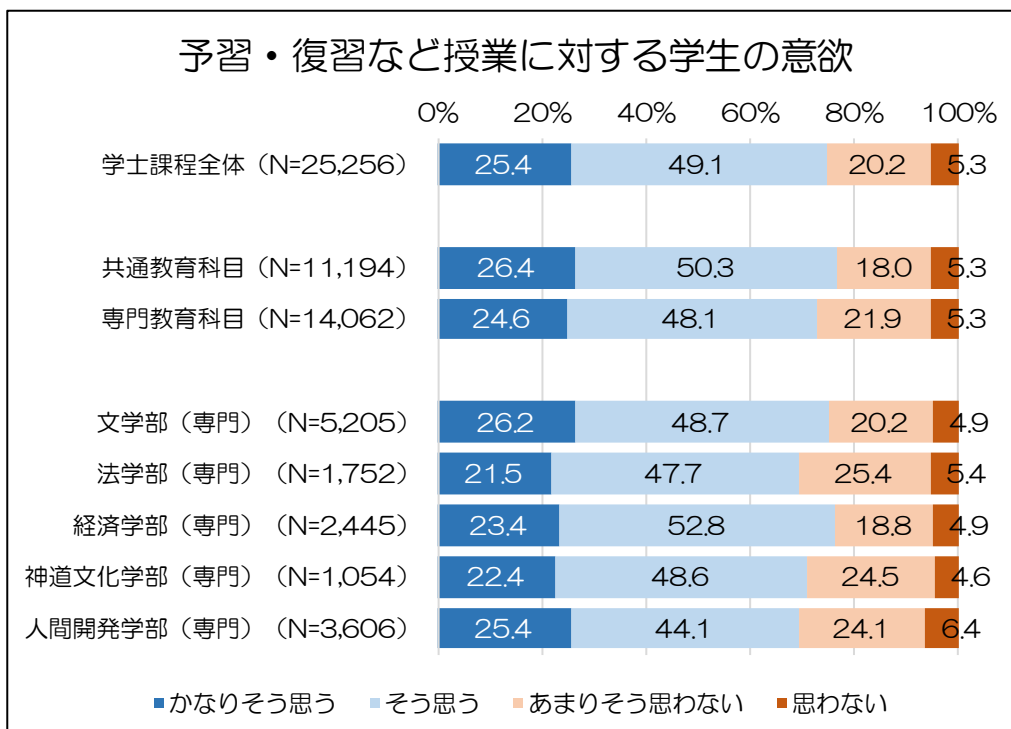
Q8 1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていきましたか。



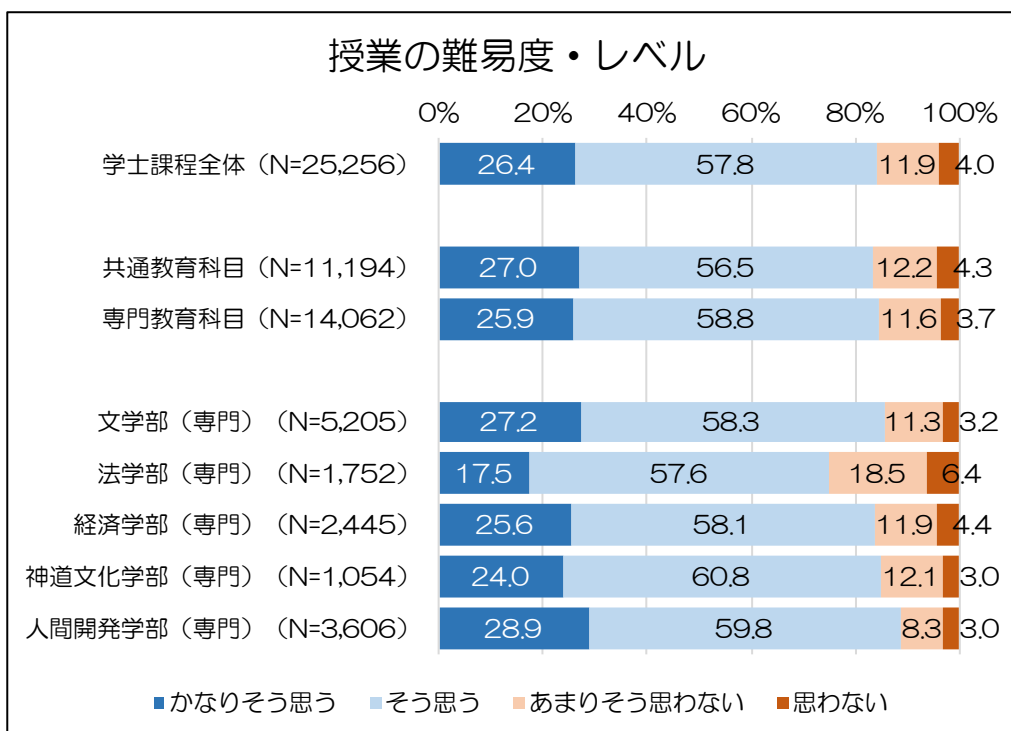
Q9 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。



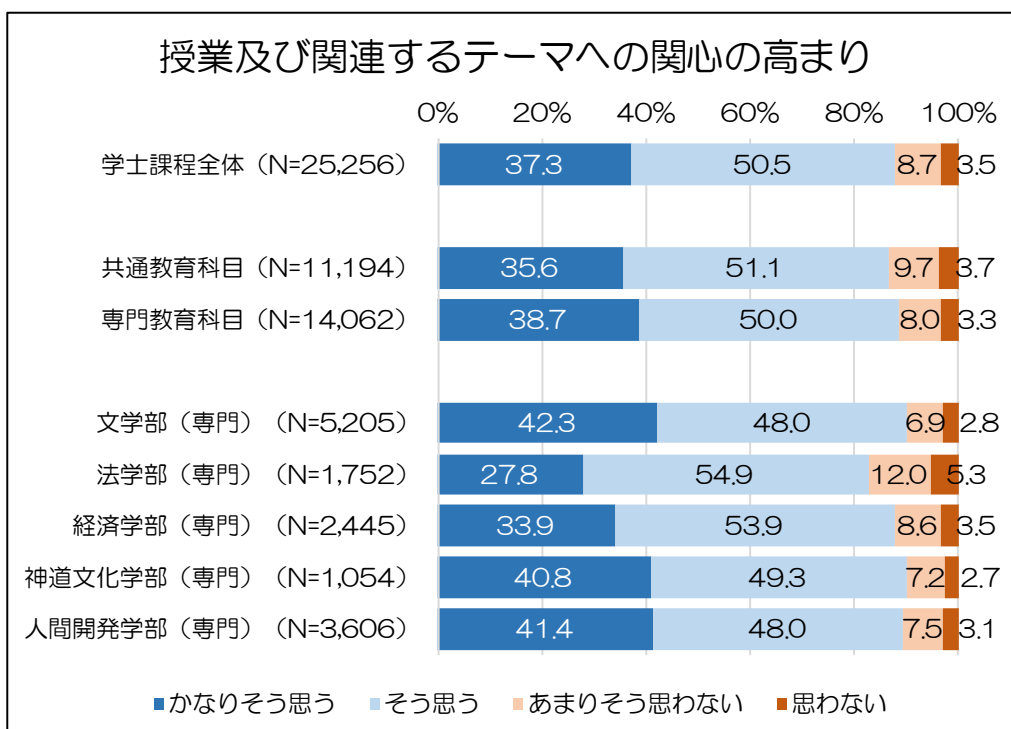
Q10 あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。



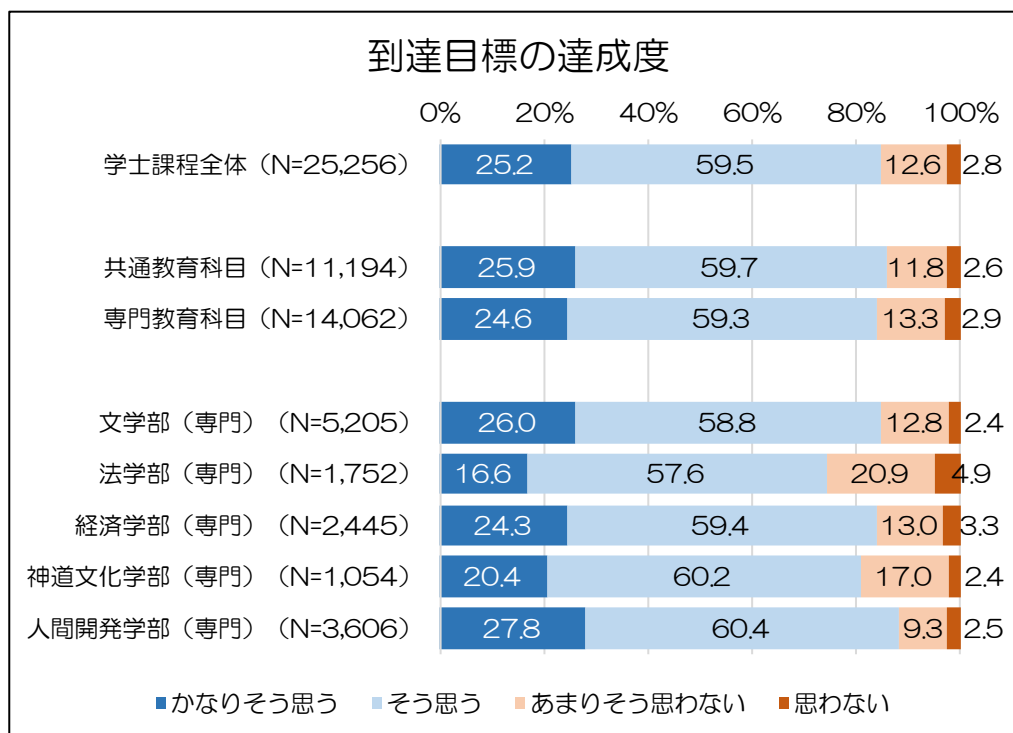
Q11 あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。



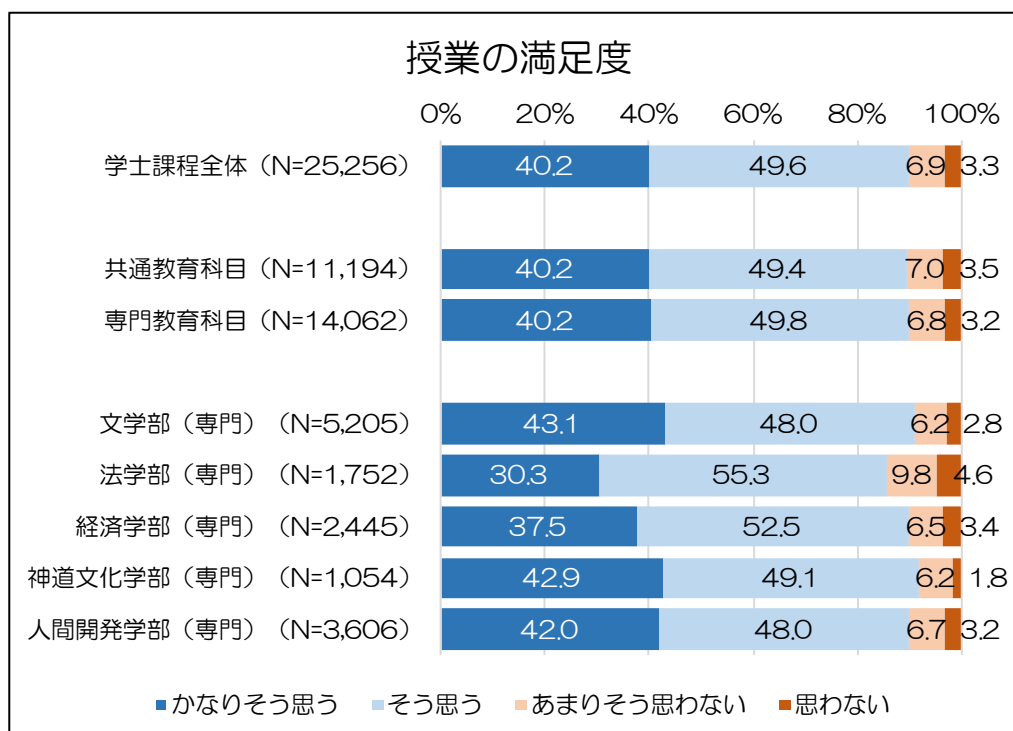
Q12 この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。



Q13 あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。



Q14 あなたはこの授業を履修して良かったですか。



集計結果の総評

- 本学の授業評価アンケートは、従前のおり、全部で 17 の設問から成り立っています。
- 設問の構成は、大別して 2 つに区分できます。Q1～Q3 と Q5～Q6、Q8～Q9 が、教員を対象に授業運営の観点から尋ねた設問で、それ以外の設問が、学生を対象に授業を受講しての意識という観点から尋ねた設問となっています。
- それぞれの設問について、授業科目の区分にしたいが、3 つの区分で回答を集計しました。集計区分は、(1) 学士課程全体（全回答）、(2) 共通教育科目と専門教育科目、(3) 学部別に見た専門教育科目、です。それでは順に各設問の結果をみてみましょう。
- Q1 は、「教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか」です。肯定回答（「かなりそう思う」と「そう思う」の合計）は、学士課程全体で 88.0% でした。またどの集計区分でも 80% を超える結果となりました。
- Q2 は、「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で 79.1% でした。学部別（専門教育科目）で見ると、文学部で 77.0%、法学部で 61.5%、経済学部で 77.3%、神道文化学部で 73.1%、人間開発学部で 81.8% でした。学部間で分布に最大 20.3% の差が確認できました。
- Q3 は、「教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で 90.3% でした。本設問では、どの集計区分でも肯定回答が 90% 前後であることが確認できました。
- Q4 は、「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で 78.6% でした。学部別で見ると、文学部で 85.3%、法学部で 84.9%、経済学部で 82.1%、神道文化学部で 83.9%、人間開発学部で 67.3% となり、人間開発学部でやや割合が小さい結果となりました。

- Q5 は、「教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.9%でした。本設問では、どの集計区分でも肯定回答が90%前後であることが確認できました。
- Q6 は、「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で76.8%でした。順に見ると、共通教育科目が79.9%、専門教育科目が74.4%、文学部が74.0%、法学部が73.6%、経済学部が78.9%、神道文化学部が75.0%、人間開発学部が72.2%でした。本設問では、どの集計区分でも肯定回答の割合が80%を下回る結果となりました。
- Q7 は、「あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で82.3%でした。学部別では、文学部、神道文化学部、人間開発学部で80%を超えていましたが、法学部と経済学部では80%未満という結果になりました。
- Q8 は、「1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されてい了吗」です。肯定回答は、学士課程全体で92.4%でした。学部別に見ても、どの学部でも90%を超えていました。
- Q9 は、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められてい了吗」です。肯定回答は、学士課程全体で93.7%でした。またこれもQ8と同様に、すべての集計区分で肯定回答が90%を超える結果となりました。
- Q10 は、「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で74.5%でした。また他のどの集計区分を見ても、肯定回答が80%を下回る結果となりました。学部別に結果を見ると、文学部で74.9%、法学部で69.2%、経済学部で76.2%、神道文化学部で71.0%、人間開発学部で69.5%という結果になりました。
- Q11 は、「あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか」です。肯定回答は、学士課程全体で84.2%でした。他の集計区分をみると、法学部のみ肯定回答が80%を下回る結果（75.1%）となりました。

- Q12は、「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で87.8%でした。どの集計区分でも肯定回答は80%を超えていましたが、「かなりそう思う」だけに注目すると、法学部は27.8%と、他の学部比べて相対的に低い結果となりました。
- Q13は、「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で84.7%でした。学部別にみても、どの集計区分でも80%を超えていました。ただし肯定回答のうち、「かなりそう思う」だけに注目すると、どの集計区分でも30%を下回る結果となり、「そう思う」が60%程度を占めていたことがわかりました。
- Q14は、「あなたはこの授業を履修して良かったですか」です。肯定回答は、学士課程全体で89.8%でした。どの集計区分で見ても、肯定回答が90%前後であったことがわかりました。

- 以上、各設問について集計結果から明らかになったことを簡潔に整理しました。集計結果によれば、これまでの学生による授業評価アンケートの結果と同様に、本学の授業は概ね肯定回答が多くを占める傾向にあることが確認できました。
- ただしこれもこれまでのアンケート結果と同様ですが、設問のうち肯定回答が80%を下回った設問が、複数確認される結果となりました。具体的にはQ2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」や、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」、さらにはQ10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」などです。また今回の調査では、新たにQ4「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」でも肯定回答が80%を下回りました。これらについては、本学の授業運営上の課題であるということができそうです。

2-2 専任及び兼任教員の到達目標の達成度・満足度順位（ベスト30）

【算出方法】

1) 教員が担当した授業科目のアンケート結果を1つに集計。

例

教員名	授業科目名	回答数
國學 太郎	國學院の歴史	21
國學 太郎	神道精神	11
國學 太郎	日本の伝統	38
こくびょん	文学概論	14
こくびょん	日本文学入門	6



教員名	回答数
國學 太郎	70
こくびょん	20

2) 上記の集計をした後、合計回答数が50人以上の教員を対象とする。

例

教員名	回答数	
國學 太郎	70	← 対象
こくびょん	20	← 対象外

3) 到達目標の達成度はQ13、満足度はQ14の回答結果から、点数化。

例

國學太郎先生の場合（到達目標の達成度・満足度ともに同様の計算式とする）

教員氏名：國學 太郎	回答数	配点	回答数×配点＝点数
かなりそう思う	15件	4点	60点
そう思う	30件	3点	90点
あまりそう思わない	22件	2点	44点
そう思わない	3件	1点	3点
合計	70件		197点

到達目標の達成度または満足度点数 $197 \div 70 = \underline{2.814}$ 点

4) 上記の到達目標の達成度または満足度点数の高い順に、ベスト30教員を選出

到達目標の達成度ベスト 30（専任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	神事努	54	56.8%	3,519	53.7%	44.4%	1.9%	0.0%
2	杉田洋	229	66.2%	3,493	52.0%	45.9%	1.7%	0.4%
3	村上佳司	128	70.3%	3,477	48.4%	50.8%	0.8%	0.0%
4	田嶋一	200	66.0%	3,470	52.5%	43.5%	2.5%	1.5%
5	大森俊夫	56	61.5%	3,446	50.0%	46.4%	1.8%	1.8%
6	針谷壮一	97	53.0%	3,402	41.2%	57.7%	1.0%	0.0%
7	小林唯	75	42.4%	3,400	42.7%	54.7%	2.7%	0.0%
8	宮下雄治	188	59.3%	3,394	46.3%	47.9%	4.8%	1.1%
9	伊藤英之	64	27.1%	3,391	48.4%	43.8%	6.3%	1.6%
10	飯倉義之	160	48.0%	3,375	40.0%	57.5%	2.5%	0.0%
11	高橋昌一郎	504	38.8%	3,363	42.1%	53.2%	3.8%	1.0%
12	柴田保之	52	28.7%	3,346	44.2%	46.2%	9.6%	0.0%
13	齋藤智哉	189	60.4%	3,339	38.1%	57.7%	4.2%	0.0%
14	田村学	101	39.8%	3,337	36.6%	60.4%	3.0%	0.0%
15	高山実佐	70	32.9%	3,329	37.1%	58.6%	4.3%	0.0%
16	藤澤紫	165	29.5%	3,327	38.2%	56.4%	5.5%	0.0%
17	成田信子	83	42.6%	3,325	36.1%	61.4%	1.2%	1.2%
18	笹田弥生	84	42.2%	3,321	38.1%	56.0%	6.0%	0.0%
19	高山真琴	77	79.4%	3,299	35.1%	61.0%	2.6%	1.3%
20	塩谷香	71	35.1%	3,282	29.6%	69.0%	1.4%	0.0%
21	備前嘉文	120	58.3%	3,258	30.0%	65.8%	4.2%	0.0%
22	吉永安里	71	38.0%	3,239	26.8%	70.4%	2.8%	0.0%
23	野本茂夫	85	34.6%	3,235	27.1%	69.4%	3.5%	0.0%
24	石川則夫	76	76.8%	3,197	28.9%	63.2%	6.6%	1.3%
25	高橋幸子	88	25.7%	3,193	23.9%	72.7%	2.3%	1.1%
26	田沼茂紀	139	37.0%	3,173	31.7%	57.6%	7.2%	3.6%
27	大津直子	147	64.8%	3,163	24.5%	67.3%	8.2%	0.0%
28	石井研士	51	17.3%	3,157	29.4%	56.9%	13.7%	0.0%
29	近藤良彦	66	68.8%	3,152	28.8%	57.6%	13.6%	0.0%
30	中泉真樹	54	25.0%	3,148	25.9%	66.7%	3.7%	3.7%

到達目標の達成度ベスト 30（兼任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	マシューフレイザー	54	33.8%	3,537	55.6%	42.6%	1.9%	0.0%
2	長浜尚史	58	81.7%	3,534	60.3%	34.5%	3.4%	1.7%
3	メレスキートム	55	59.8%	3,436	47.3%	49.1%	3.6%	0.0%
4	福井一喜	126	19.0%	3,421	45.2%	51.6%	3.2%	0.0%
5	福島隆	108	73.0%	3,417	45.4%	51.9%	1.9%	0.9%
6	コバヤシマリヤ	96	77.4%	3,365	38.5%	59.4%	2.1%	0.0%
7	ジェイムズゴムリー	109	56.8%	3,349	36.7%	61.5%	1.8%	0.0%
8	ストゥルジエンスカルロ	76	51.7%	3,342	38.2%	59.2%	1.3%	1.3%
9	ジョッシュユニーランス	53	20.5%	3,340	41.5%	50.9%	7.5%	0.0%
10	田邊一馬	62	71.3%	3,323	33.9%	64.5%	1.6%	0.0%
11	射場雅代	60	20.5%	3,317	35.0%	63.3%	0.0%	1.7%
12	野村ひかり	50	82.0%	3,300	38.0%	54.0%	8.0%	0.0%
13	ガルシアクリストファー	111	87.4%	3,288	36.0%	57.7%	5.4%	0.9%
14	マシューフレイザー	125	62.5%	3,288	33.6%	62.4%	3.2%	0.8%
15	辻本拓司	251	23.5%	3,271	34.7%	58.2%	6.8%	0.4%
16	ロジャースアダム	101	77.1%	3,267	31.7%	63.4%	5.0%	0.0%
17	バーグホールヨハン	89	74.8%	3,258	33.7%	58.4%	7.9%	0.0%
18	今村梅子	76	82.6%	3,250	28.9%	67.1%	3.9%	0.0%
19	渡辺暢恵	55	74.3%	3,236	29.1%	67.3%	1.8%	1.8%
20	川村信郎	105	35.0%	3,229	30.5%	61.9%	7.6%	0.0%
21	弓削田綾乃	61	51.7%	3,213	23.0%	75.4%	1.6%	0.0%
22	吉岡真緒	57	64.8%	3,211	33.3%	56.1%	8.8%	1.8%
23	麻生信也	63	62.4%	3,206	22.2%	76.2%	1.6%	0.0%
24	立石展大	164	29.2%	3,152	22.6%	70.1%	7.3%	0.0%
25	松村直樹	161	86.1%	3,149	28.0%	60.2%	10.6%	1.2%
26	ミードフレイジャージェロツ	116	87.9%	3,147	23.3%	69.0%	6.9%	0.9%
27	西林勝吾	51	20.4%	3,137	25.5%	62.7%	11.8%	0.0%
28	今里晴敦	52	57.1%	3,135	23.1%	67.3%	9.6%	0.0%
29	椋島香代	63	58.9%	3,127	19.0%	74.6%	6.3%	0.0%
30	サイカマヤニ	57	86.4%	3,123	31.6%	52.6%	12.3%	3.5%

到達目標の達成度ベスト 30（総合：専任教員及び兼任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	マシュー・フレイザー	54	33.8%	3,537	55.6%	42.6%	1.9%	0.0%
2	長浜尚史	58	81.7%	3,534	60.3%	34.5%	3.4%	1.7%
3	神事努	54	56.8%	3,519	53.7%	44.4%	1.9%	0.0%
4	杉田洋	229	66.2%	3,493	52.0%	45.9%	1.7%	0.4%
5	村上佳司	128	70.3%	3,477	48.4%	50.8%	0.8%	0.0%
6	田嶋一	200	66.0%	3,470	52.5%	43.5%	2.5%	1.5%
7	大森俊夫	56	61.5%	3,446	50.0%	46.4%	1.8%	1.8%
8	メレスキートム	55	59.8%	3,436	47.3%	49.1%	3.6%	0.0%
9	福井一喜	126	19.0%	3,421	45.2%	51.6%	3.2%	0.0%
10	福島隆	108	73.0%	3,417	45.4%	51.9%	1.9%	0.9%
11	針谷壮一	97	53.0%	3,402	41.2%	57.7%	1.0%	0.0%
12	小林唯	75	42.4%	3,400	42.7%	54.7%	2.7%	0.0%
13	宮下雄治	188	59.3%	3,394	46.3%	47.9%	4.8%	1.1%
14	伊藤英之	64	27.1%	3,391	48.4%	43.8%	6.3%	1.6%
15	飯倉義之	160	48.0%	3,375	40.0%	57.5%	2.5%	0.0%
16	コバヤシマリヤ	96	77.4%	3,365	38.5%	59.4%	2.1%	0.0%
17	高橋昌一郎	504	38.8%	3,363	42.1%	53.2%	3.8%	1.0%
18	ジェイムズゴムリー	109	56.8%	3,349	36.7%	61.5%	1.8%	0.0%
19	柴田保之	52	28.7%	3,346	44.2%	46.2%	9.6%	0.0%
20	ストゥルジエンスカルロ	76	51.7%	3,342	38.2%	59.2%	1.3%	1.3%
21	ジョッシュユニーランス	53	20.5%	3,340	41.5%	50.9%	7.5%	0.0%
22	齋藤智哉	189	60.4%	3,339	38.1%	57.7%	4.2%	0.0%
23	田村学	101	39.8%	3,337	36.6%	60.4%	3.0%	0.0%
24	高山実佐	70	32.9%	3,329	37.1%	58.6%	4.3%	0.0%
25	藤澤紫	165	29.5%	3,327	38.2%	56.4%	5.5%	0.0%
26	成田信子	83	42.6%	3,325	36.1%	61.4%	1.2%	1.2%
27	田邊一馬	62	71.3%	3,323	33.9%	64.5%	1.6%	0.0%
28	笹田弥生	84	42.2%	3,321	38.1%	56.0%	6.0%	0.0%
29	射場雅代	60	20.5%	3,317	35.0%	63.3%	0.0%	1.7%
30	野村ひかり	50	82.0%	3,300	38.0%	54.0%	8.0%	0.0%

注 塗りつぶしは兼任教員

満足度ベスト 30（専任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	飯倉義之	160	48.0%	3.756	75.6%	24.4%	0.0%	0.0%
2	針谷壮一	97	53.0%	3.732	73.2%	26.8%	0.0%	0.0%
3	杉田洋	229	66.2%	3.707	72.1%	26.6%	1.3%	0.0%
4	神事努	54	56.8%	3.685	68.5%	31.5%	0.0%	0.0%
5	田嶋一	200	66.0%	3.685	70.5%	28.0%	1.0%	0.5%
6	塩谷香	71	35.1%	3.662	69.0%	29.6%	0.0%	1.4%
7	齋藤智哉	189	60.4%	3.661	67.7%	31.2%	0.5%	0.5%
8	石井研士	51	17.3%	3.627	62.7%	37.3%	0.0%	0.0%
9	近藤良彦	66	68.8%	3.591	62.1%	34.8%	3.0%	0.0%
10	宮下雄治	188	59.3%	3.590	62.2%	35.6%	1.1%	1.1%
11	高山実佐	70	32.9%	3.586	58.6%	41.4%	0.0%	0.0%
12	井上明芳	72	72.0%	3.583	59.7%	38.9%	1.4%	0.0%
13	小林唯	75	42.4%	3.547	56.0%	42.7%	1.3%	0.0%
14	柴田保之	52	28.7%	3.538	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
15	高橋昌一郎	504	38.8%	3.536	57.9%	39.3%	1.2%	1.6%
16	田村学	101	39.8%	3.535	54.5%	44.6%	1.0%	0.0%
17	藤澤紫	165	29.5%	3.533	56.4%	41.2%	1.8%	0.6%
18	村上佳司	128	70.3%	3.523	53.9%	44.5%	1.6%	0.0%
19	大森俊夫	56	61.5%	3.518	60.7%	32.1%	5.4%	1.8%
20	伊藤英之	64	27.1%	3.516	57.8%	37.5%	3.1%	1.6%
21	石川則夫	76	76.8%	3.513	55.3%	42.1%	1.3%	1.3%
22	吉永安里	71	38.0%	3.507	52.1%	46.5%	1.4%	0.0%
23	高山真琴	77	79.4%	3.506	53.2%	45.5%	0.0%	1.3%
24	神長美津子	159	73.6%	3.484	49.7%	49.1%	1.3%	0.0%
25	成田信子	83	42.6%	3.482	53.0%	43.4%	2.4%	1.2%
26	大津直子	147	64.8%	3.449	48.3%	48.3%	3.4%	0.0%
27	野本茂夫	85	34.6%	3.447	45.9%	52.9%	1.2%	0.0%
28	笹田弥生	84	42.2%	3.429	46.4%	51.2%	1.2%	1.2%
29	備前嘉文	120	58.3%	3.417	42.5%	56.7%	0.8%	0.0%
30	小林宣彦	90	16.1%	3.389	43.3%	53.3%	2.2%	1.1%

満足度ベスト 30（兼任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	今村梅子	76	83%	3.789	78.9%	21.1%	0.0%	0.0%
2	長浜尚史	58	82%	3.759	75.9%	24.1%	0.0%	0.0%
3	田邊一馬	62	71%	3.742	74.2%	25.8%	0.0%	0.0%
4	福島隆	108	73%	3.741	77.8%	19.4%	1.9%	0.9%
5	野村ひかり	50	82%	3.720	72.0%	28.0%	0.0%	0.0%
6	マシューフレイザー	54	34%	3.667	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
7	福井一喜	126	19%	3.635	65.1%	33.3%	1.6%	0.0%
8	川村信郎	105	35%	3.619	61.9%	38.1%	0.0%	0.0%
9	吉岡真緒	57	65%	3.614	61.4%	38.6%	0.0%	0.0%
10	辻本拓司	251	23%	3.570	57.4%	42.2%	0.4%	0.0%
11	メレスキートム	55	60%	3.564	58.2%	40.0%	1.8%	0.0%
12	石原直美	62	83%	3.516	51.6%	48.4%	0.0%	0.0%
13	橋口武英	52	26%	3.500	51.9%	46.2%	1.9%	0.0%
14	マシューフレイザー	125	63%	3.496	51.2%	47.2%	1.6%	0.0%
15	ストゥルジエンスカルロ	76	51.7%	3.474	50.0%	48.7%	0.0%	1.3%
16	麻生信也	63	62.4%	3.460	49.2%	47.6%	3.2%	0.0%
17	渡辺暢恵	55	74.3%	3.455	49.1%	49.1%	0.0%	1.8%
18	岩田正之	75	35.2%	3.453	49.3%	46.7%	4.0%	0.0%
19	バーグホールヨハン	89	74.8%	3.438	50.6%	43.8%	4.5%	1.1%
20	椛島香代	63	58.9%	3.429	46.0%	50.8%	3.2%	0.0%
21	ガルシアクリストファー	111	87.4%	3.423	46.8%	49.5%	2.7%	0.9%
22	立石展大	164	29.2%	3.409	45.1%	51.2%	3.0%	0.6%
23	李英珠	59	69.4%	3.407	45.8%	49.2%	5.1%	0.0%
24	西田洋平	63	60.6%	3.397	41.3%	57.1%	1.6%	0.0%
25	ジョッシュニューランズ	53	20.5%	3.377	49.1%	39.6%	11.3%	0.0%
26	ジェイムズゴムリー	109	56.8%	3.376	38.5%	60.6%	0.9%	0.0%
27	白鳥和生	80	47.3%	3.375	42.5%	55.0%	0.0%	2.5%
28	射場雅代	60	20.5%	3.367	50.0%	40.0%	6.7%	3.3%
29	今里晴敦	52	57.1%	3.365	42.3%	53.8%	1.9%	1.9%
30	ロジャースアダム	101	77.1%	3.356	38.6%	58.4%	3.0%	0.0%

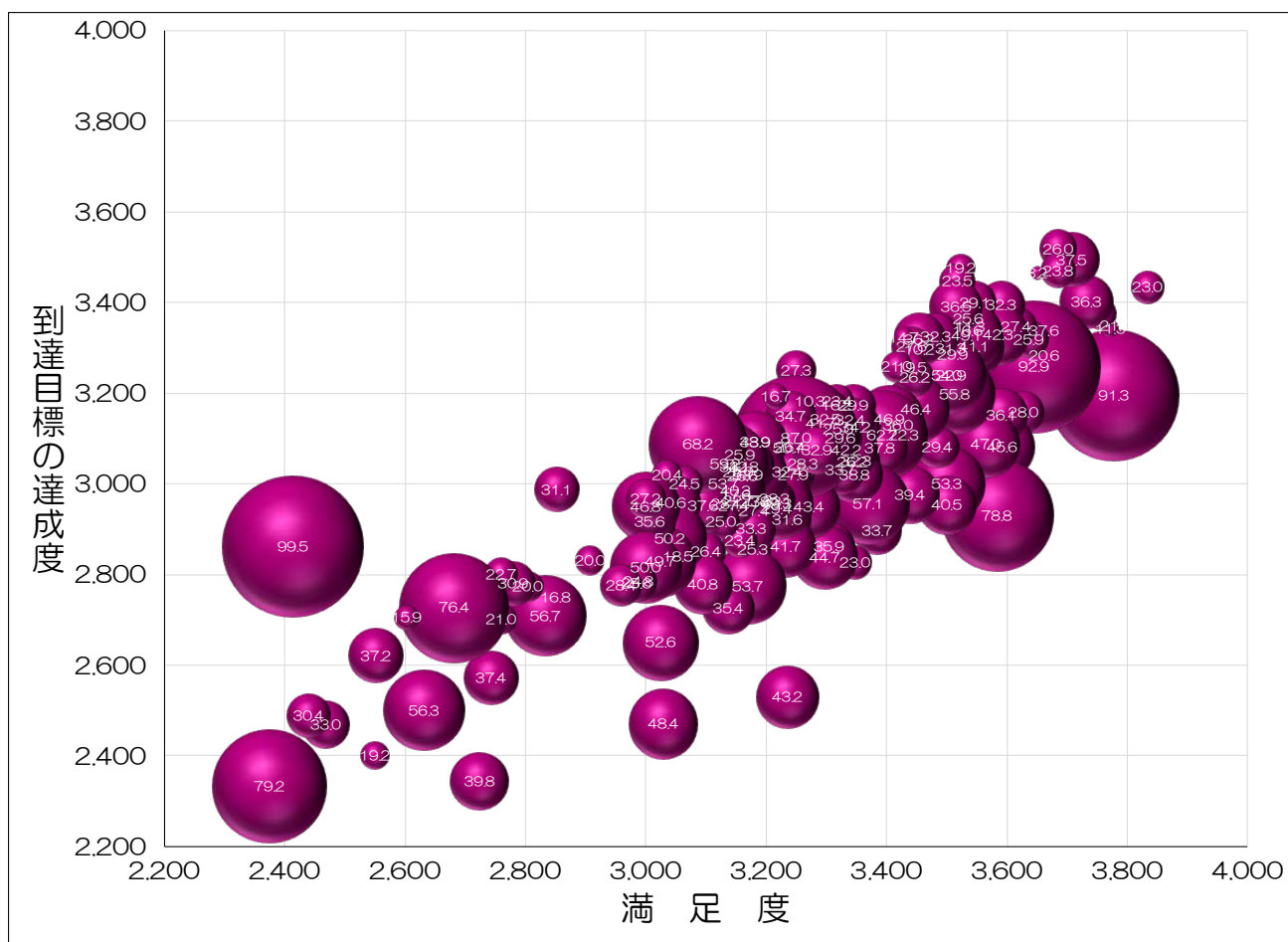
満足度ベスト 30（総合：専任教員及び兼任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	今村梅子	76	82.6%	3,789	78.9%	21.1%	0.0%	0.0%
2	長浜尚史	58	81.7%	3,759	75.9%	24.1%	0.0%	0.0%
3	飯倉義之	160	48.0%	3,756	75.6%	24.4%	0.0%	0.0%
4	田邊一馬	62	71.3%	3,742	74.2%	25.8%	0.0%	0.0%
5	福島隆	108	73.0%	3,741	77.8%	19.4%	1.9%	0.9%
6	針谷壮一	97	53.0%	3,732	73.2%	26.8%	0.0%	0.0%
7	野村ひかり	50	82.0%	3,720	72.0%	28.0%	0.0%	0.0%
8	杉田洋	229	66.2%	3,707	72.1%	26.6%	1.3%	0.0%
9	神事努	54	56.8%	3,685	68.5%	31.5%	0.0%	0.0%
9	田嶋一	200	66.0%	3,685	70.5%	28.0%	1.0%	0.5%
11	マッシュフレイザー	54	33.8%	3,667	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
12	塩谷香	71	35.1%	3,662	69.0%	29.6%	0.0%	1.4%
13	齋藤智哉	189	60.4%	3,661	67.7%	31.2%	0.5%	0.5%
14	福井一喜	126	19.0%	3,635	65.1%	33.3%	1.6%	0.0%
15	石井研士	51	17.3%	3,627	62.7%	37.3%	0.0%	0.0%
16	川村信郎	105	35.0%	3,619	61.9%	38.1%	0.0%	0.0%
17	吉岡真緒	57	64.8%	3,614	61.4%	38.6%	0.0%	0.0%
18	近藤良彦	66	68.8%	3,591	62.1%	34.8%	3.0%	0.0%
19	宮下雄治	188	59.3%	3,590	62.2%	35.6%	1.1%	1.1%
20	高山実佐	70	32.9%	3,586	58.6%	41.4%	0.0%	0.0%
21	井上明芳	72	72.0%	3,583	59.7%	38.9%	1.4%	0.0%
22	辻本拓司	251	23.5%	3,570	57.4%	42.2%	0.4%	0.0%
23	メレスキートム	55	59.8%	3,564	58.2%	40.0%	1.8%	0.0%
24	小林唯	75	42.4%	3,547	56.0%	42.7%	1.3%	0.0%
25	柴田保之	52	28.7%	3,538	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
26	高橋昌一郎	504	38.8%	3,536	57.9%	39.3%	1.2%	1.6%
27	田村学	101	39.8%	3,535	54.5%	44.6%	1.0%	0.0%
28	藤澤紫	165	29.5%	3,533	56.4%	41.2%	1.8%	0.6%
29	村上佳司	128	70.3%	3,523	53.9%	44.5%	1.6%	0.0%
30	大森俊夫	56	61.5%	3,518	60.7%	32.1%	5.4%	1.8%

注 塗りつぶしは兼任教員

2-3 達成目標の到達度・満足度・授業外学修時間で見た教員の分布 専任教員の場合

- 下の図は、教員個人を単位（1つのバブル）として、縦軸にQ13「到達目標の達成度」の平均値（1.0～4.0の範囲で分布）を、横軸にQ14「満足度」の平均値（1.0～4.0の範囲で分布）をとり、さらにQ15「授業1回あたりの授業外学修時間」の平均値（実数値であり単位は分）の大小をバブルの幅で表すことで、専任教員の相対的な位置をプロットしたものです。
- これによると専任教員は、満足度で約2.4～3.8、到達目標の達成度で約2.3～3.5の範囲で分布しているようです。
- 平成28年度後期と比較すると、満足度、到達目標の達成度ともに、ばらつきが大きくなった結果となりました。

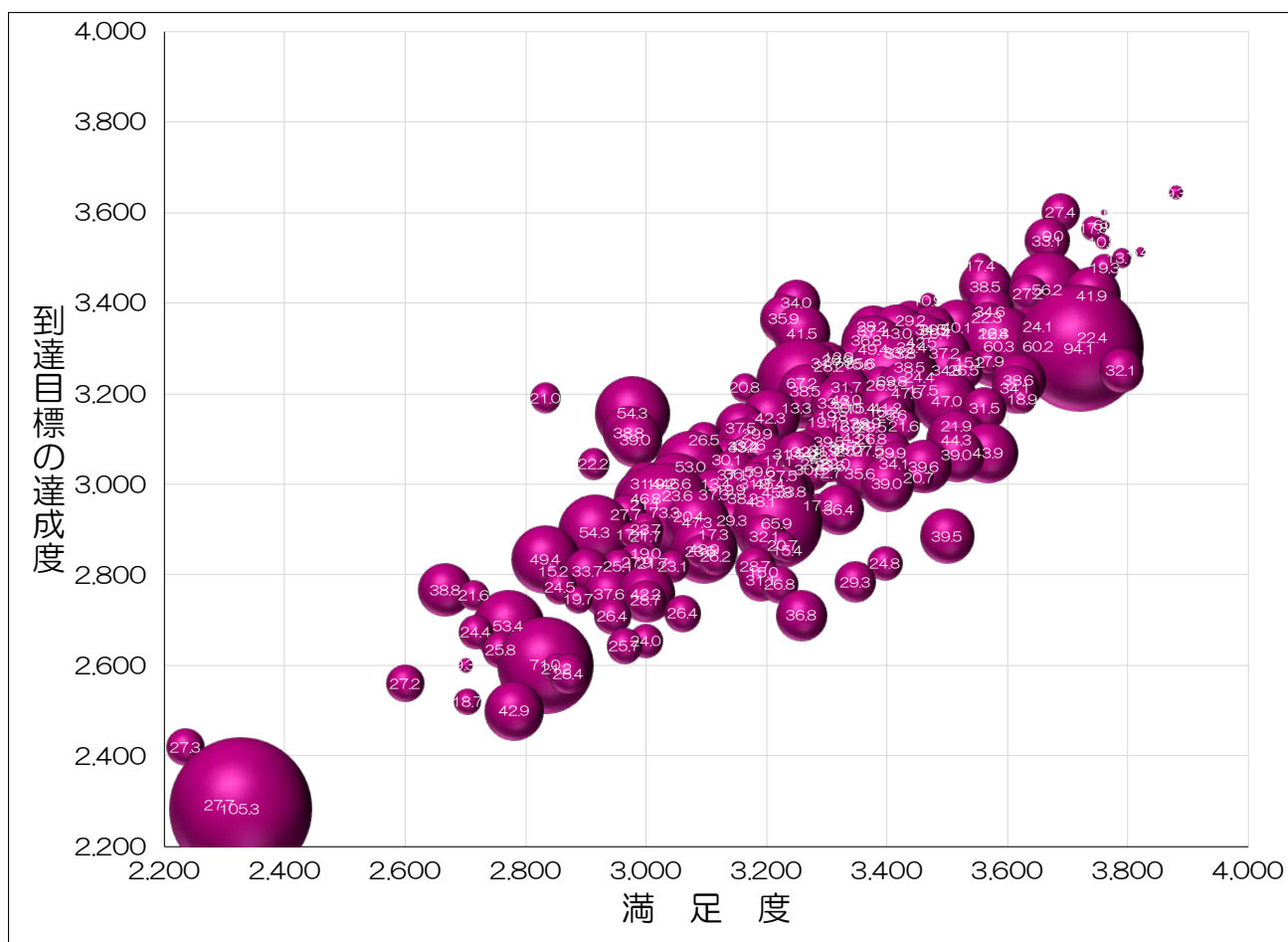


注) アンケートの回答件数の合計が 20 件以上の教員に限定して図示。なおバブル中の数字は、授業外学修時間の平均値であり、バブルの幅で表されている。なお白色のバブルは、専任教員の平均値を示す。

到達度・満足度・授業外学修時間でみた教員の分布：専任教員

兼任教員の場合

- 下の図は、前ページと同じ形式で、兼任教員を対象に図示したものです。
- これによると兼任教員の場合は満足度で約 2.3~3.9、到達目標の達成度で 2.3~3.7 といった範囲で分布していることが確認できました。
- 授業外学修時間（バブルの幅）に関しては、兼任教員の場合は、前頁の専任教員ほどばらつきが大きくないことがバブルチャートの外形から読み取ることができます。



注) アンケートの回答件数の合計が 20 件以上の教員に限定して図示。なおバブル中の数字は、授業外学修時間の平均値であり、バブルの幅で表されている。なお白色のバブルは、兼任教員の平均値を示す。

到達度・満足度・授業外学修時間でみた教員の分布：兼任教員

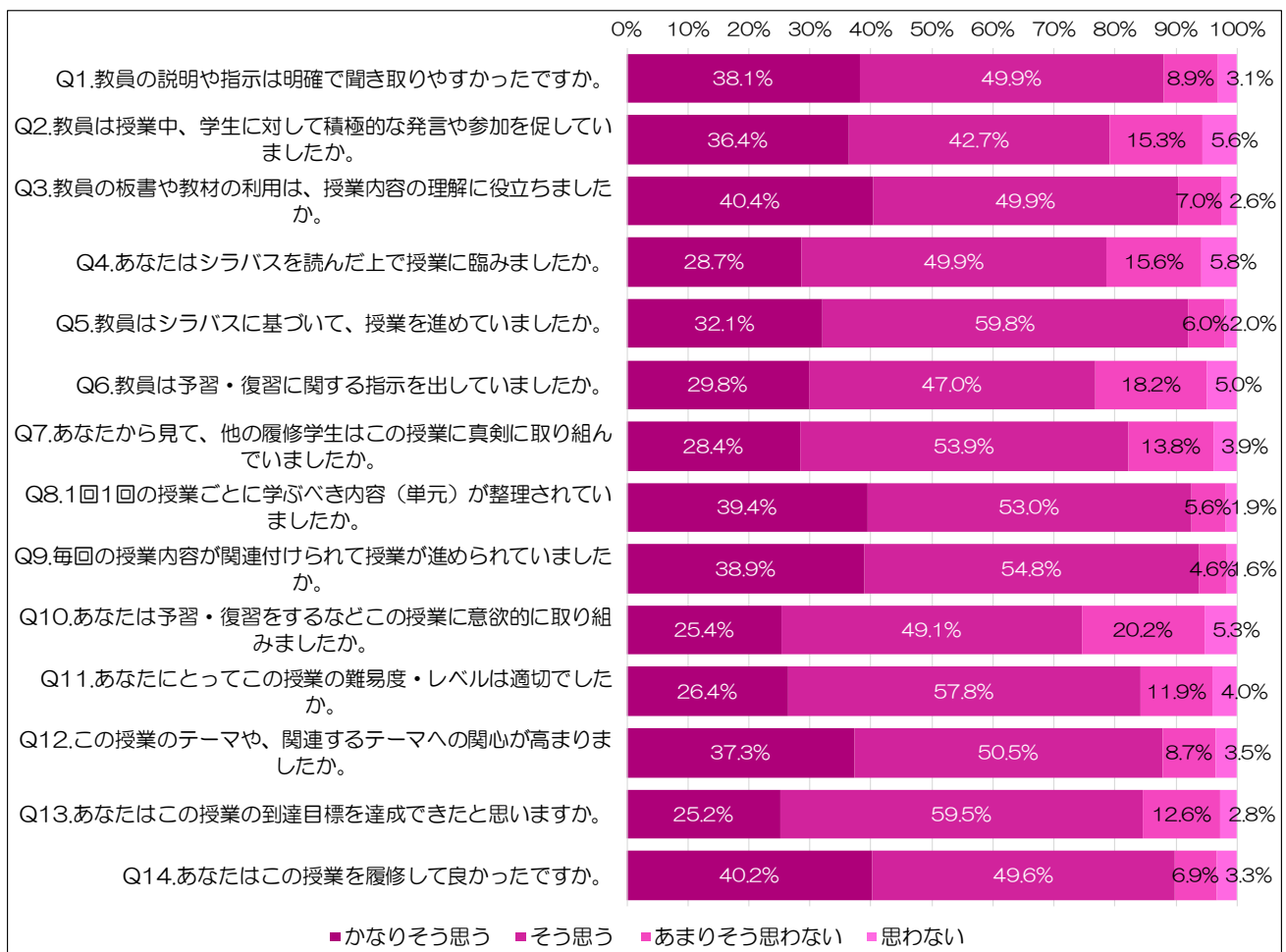
3. 考察（１）設問間のクロス表分析

* 「平成 29（2017）年度前期学生による授業評価アンケートリーフレット」より一部転載

3-1 全体集計

- 下の図は、授業外学修時間を尋ねた Q15 を除いた、全設問項目の集計結果です。これによるとほぼすべての項目で、「かなりそう思う」「そう思う」の肯定回答がかなりの割合を占めていることがわかります。
- ただしあえて、肯定回答が 80% を下回った設問項目に注目してみましょう。すると平成 28 年度後期と同様に、Q2、Q6、Q10 の肯定回答が 80% を下回っていました。
- これに加えて今回の調査では Q4「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。」の肯定回答が、わずかですが 80% を下回る結果となりました。

注 回答件数 (25,256 件)

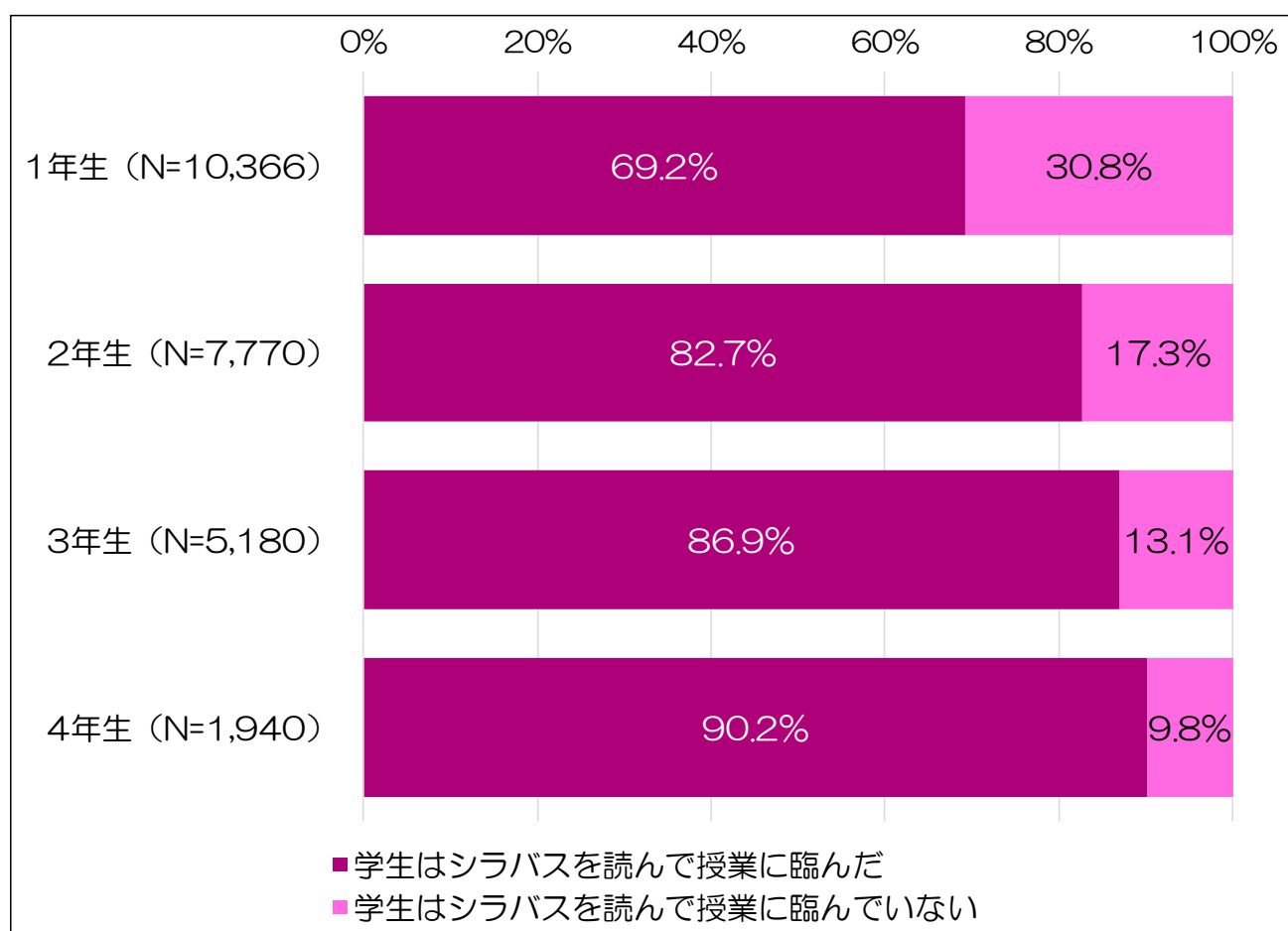


全設問項目の回答分布

3-2 学年別に見たシラバスの事前確認の状況（Q4）

- 下の図は、前ページで指摘した、Q4「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。」を、回答した学生の学年によって集計した結果です。
- これによると、学生は学年が進行するに連れて、シラバスを読んだ上で授業に臨む傾向にある、といえそうです。
- 大学と高等学校との違いの一つに、「シラバスを読み、自身で授業を選択する」ということがあります。1年生の中には、必修授業が多いためにシラバスを見る必要がない、という学生も多いかもしれません。ですがシラバスの重要性を考慮し、初年次からシラバスを確認する習慣を身につけることが必要であると言えます。

注 回答件数（25,256件）

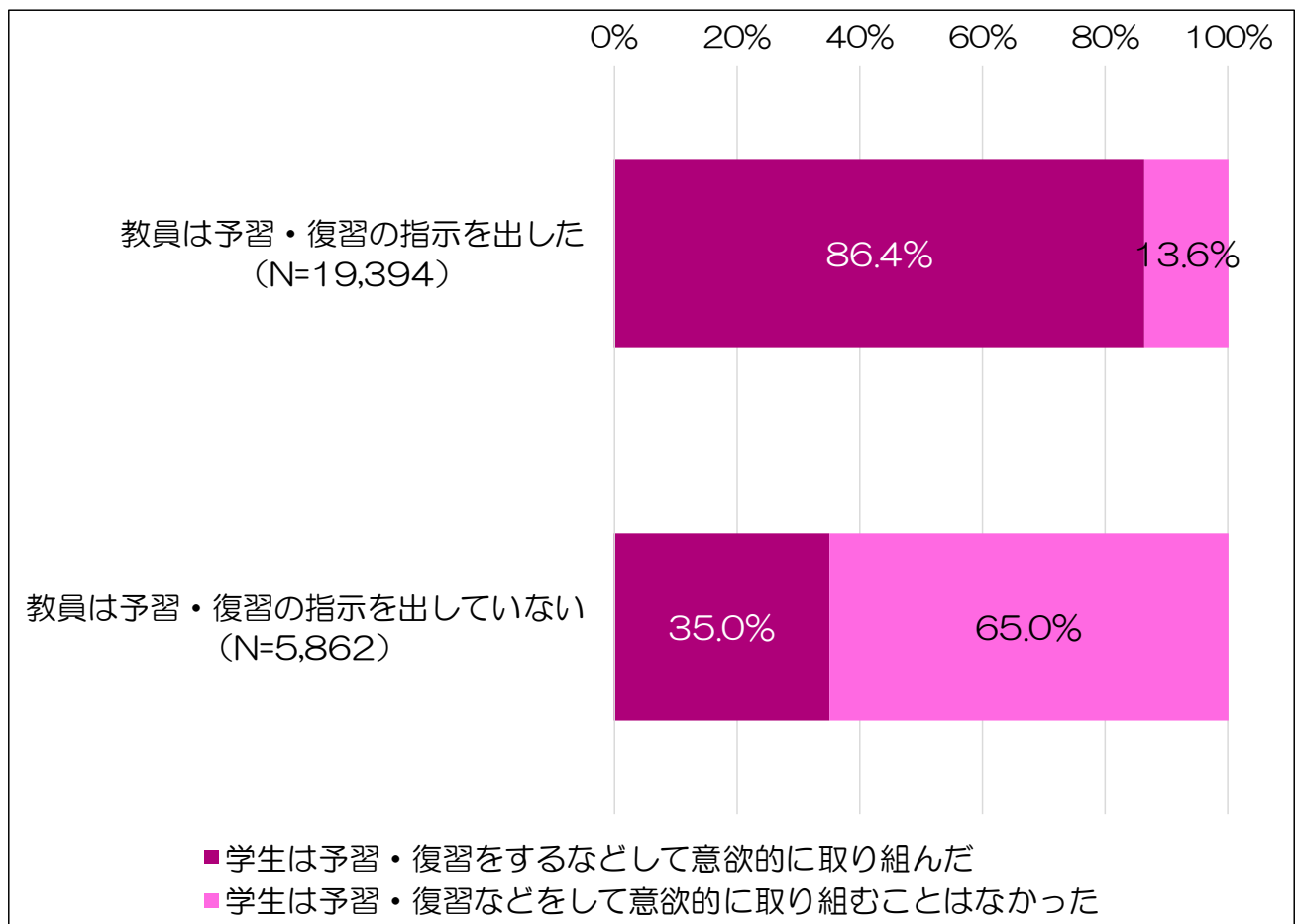


学年別に見たシラバスの事前確認の状況

3-3 教員の指示と学生の授業に対するかまえ（Q6 と Q10）

- 下の図は、平成 28 年度後期と同様に、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していませんか。」と、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。」との関係性を図で示したものです。
- これによると、教員が予習・復習の指示を出した場合には、86.4%の学生が、「予習・復習をするなどして意欲的に取り組んだ」と答えています。
- 一方で、教員が予習・復習の指示を出していない場合には、35.0%の学生しか「意欲的に取り組んだ」と答えておらず、反対に 65.0%もの学生が、「意欲的に取り組むことはなかった」と答えていました。

注 回答件数（25,256 件）

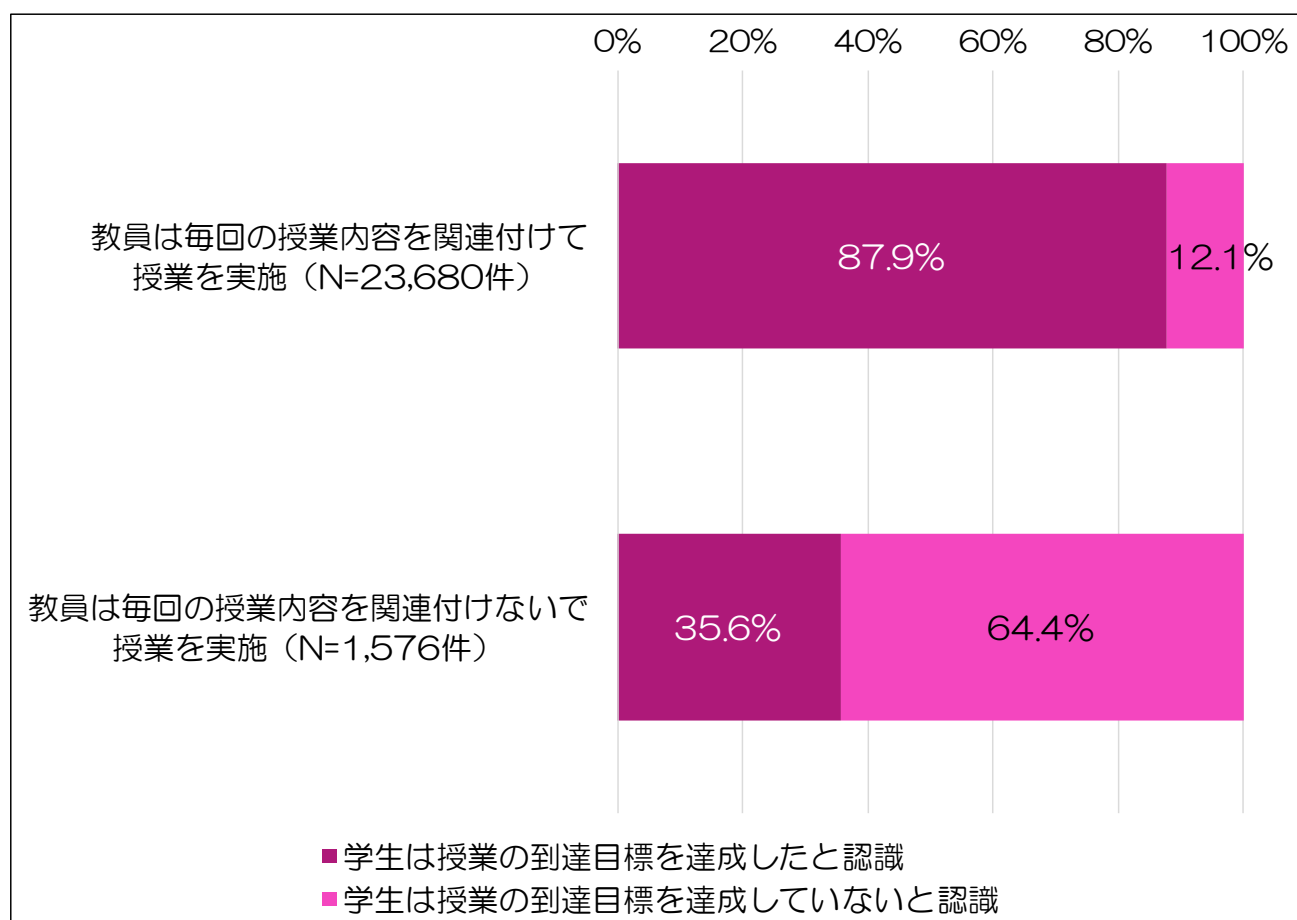


教員の指示と学生の授業に対するかまえとの関係

3-4 授業の進め方と到達目標の達成度合い（Q9 と Q13）

- 下の図は、Q9「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか」と、Q13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施した場合には、87.9%の学生が、「授業の到達目標を達成した」と答えています。
- 一方で、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施していない場合には、35.6%の学生しか、「授業の到達目標を達成した」と回答しておらず、64.4%の学生が、「授業の到達目標を達成していない」と答えています。

注 回答件数（25,256 件）

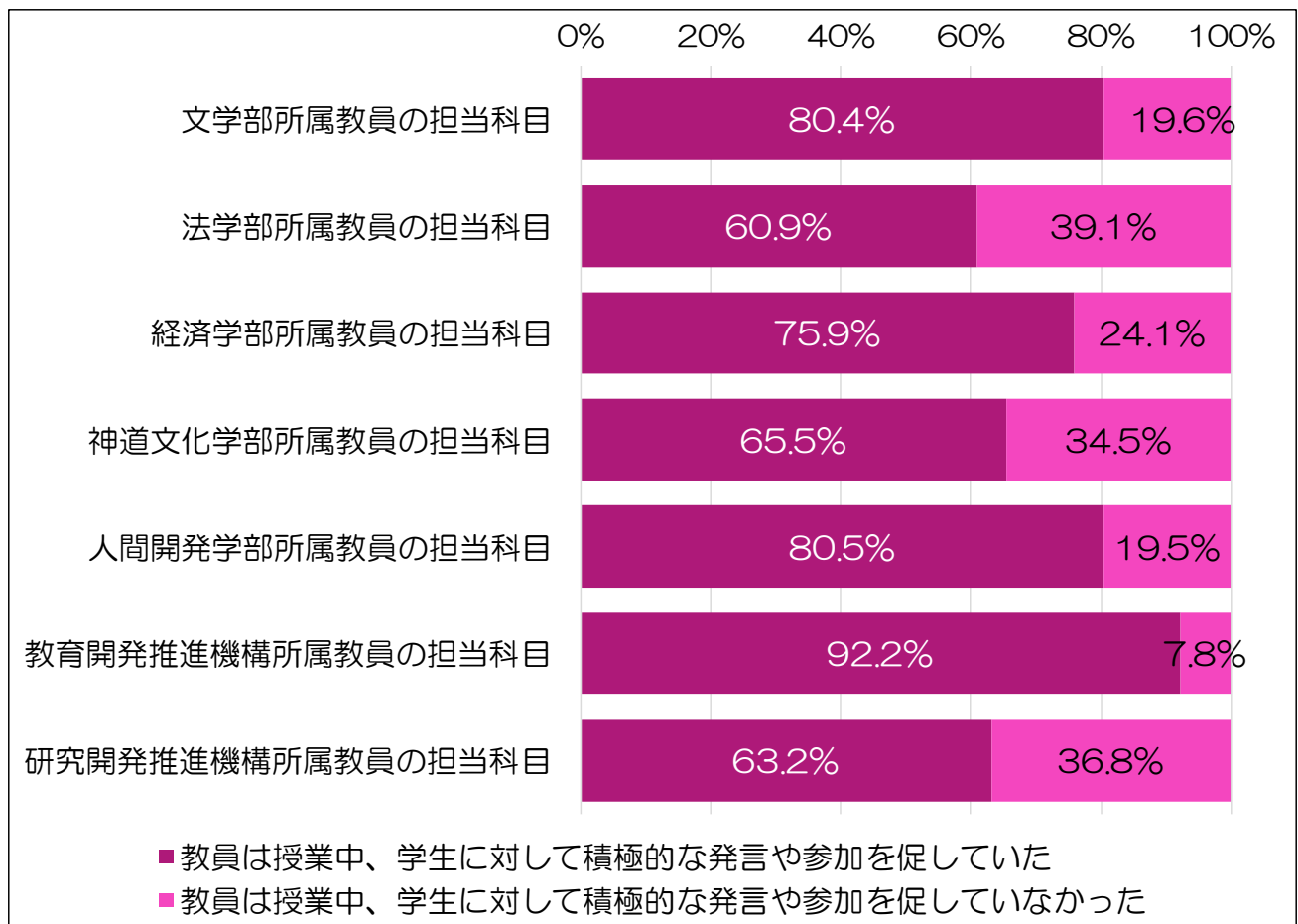


教員の授業の進め方と学生が認識する到達目標の達成度合いとの関係

3-5 教員の所属別に見た学生への働きかけ（Q2）

- 下の図は、Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」について、授業を担当した教員の所属別に集計したものを、図で示したものです。
- これによると、肯定回答は、教育開発推進機構所属教員の授業では92.2%、文学部及び人間開発学部所属教員では約80%、経済学部所属教員では75.9%、法学部、神道文化学部、研究開発推進機構所属教員では約60~66%という結果になりました。
- 教員の所属別に見ると、肯定回答にある程度の差があることが確認できました。

注 回答件数（25,256件）

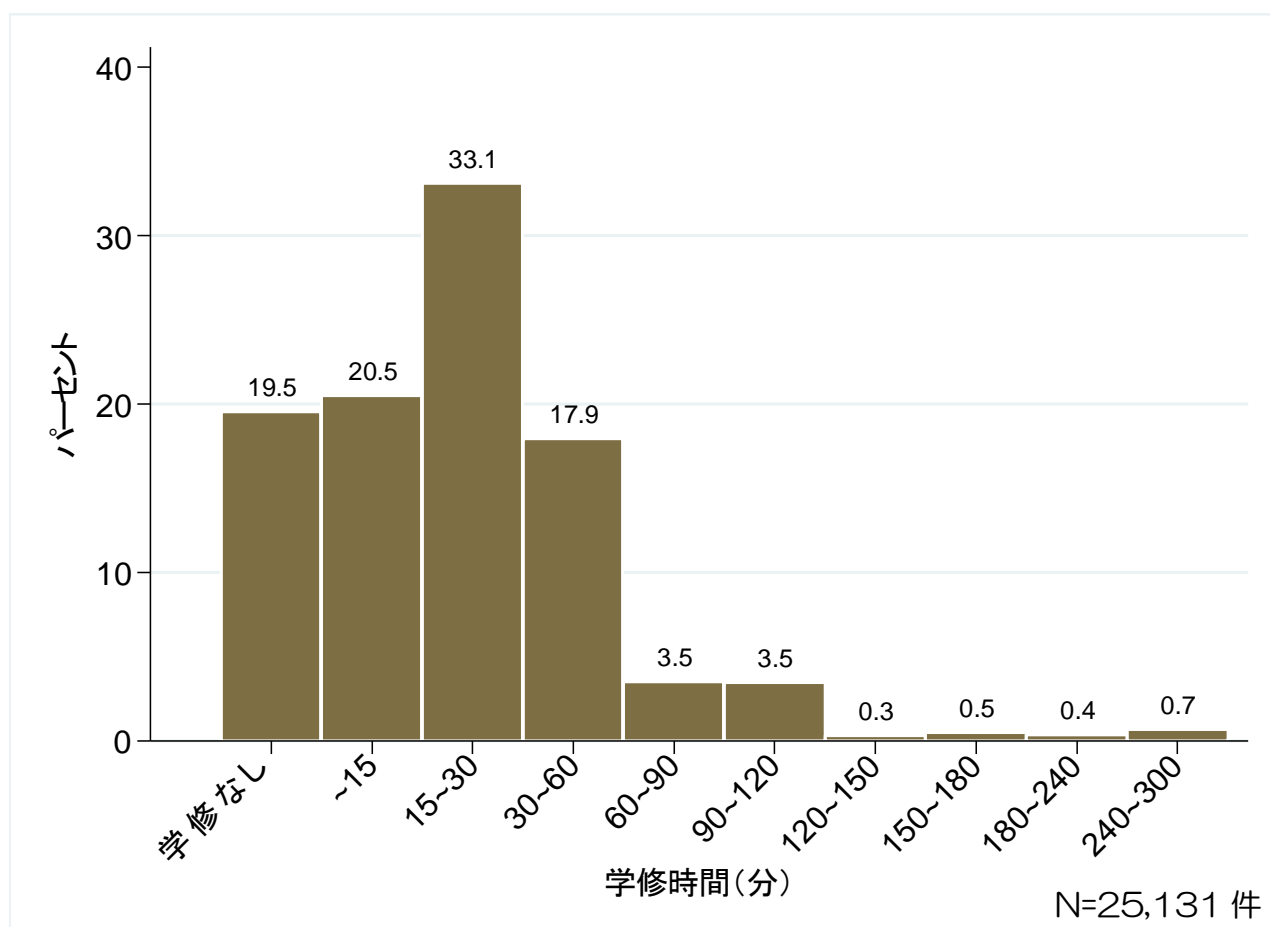


教員の所属別に見た学生への働きかけ

4. 考察（2）本学学士課程教育の授業外学修時間の現状

4-1 学士課程全体

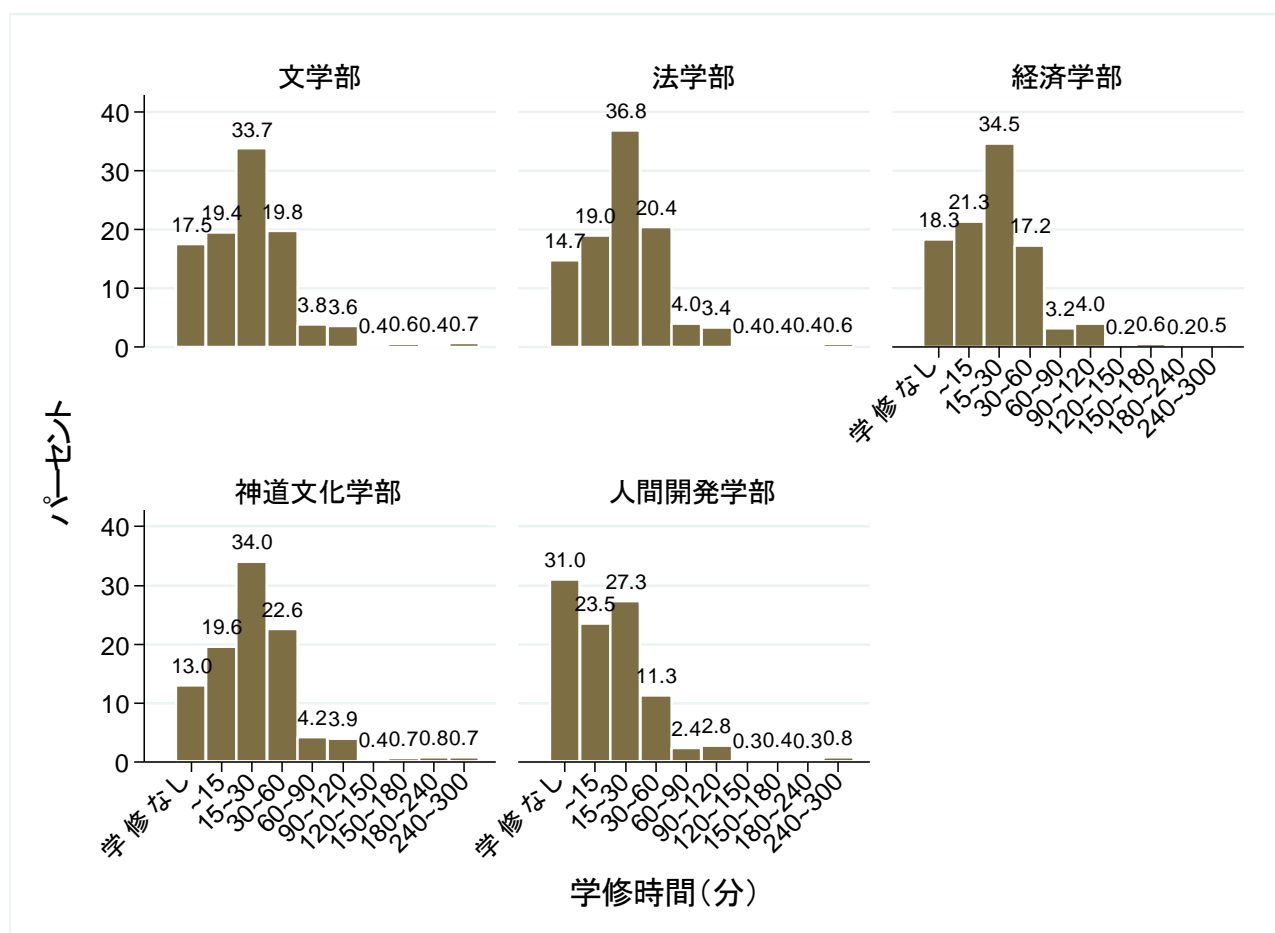
- 以下の図は、Q15「あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか（0～300分の範囲で記入）」の回答結果を示したものです。
- 集計の結果、國學院大學の学士課程教育における授業1科目あたりの授業外学修時間は、平均で32.1分でした。
- 分布を見ると、「15分～30分以内」と回答した学生が33.1%と最も多く、以下は、「学修なし」が19.5%、「15分以内」が20.5%と続きました。



学士課程全体における授業外学修時間の分布

4-2 回答学生の所属学部別

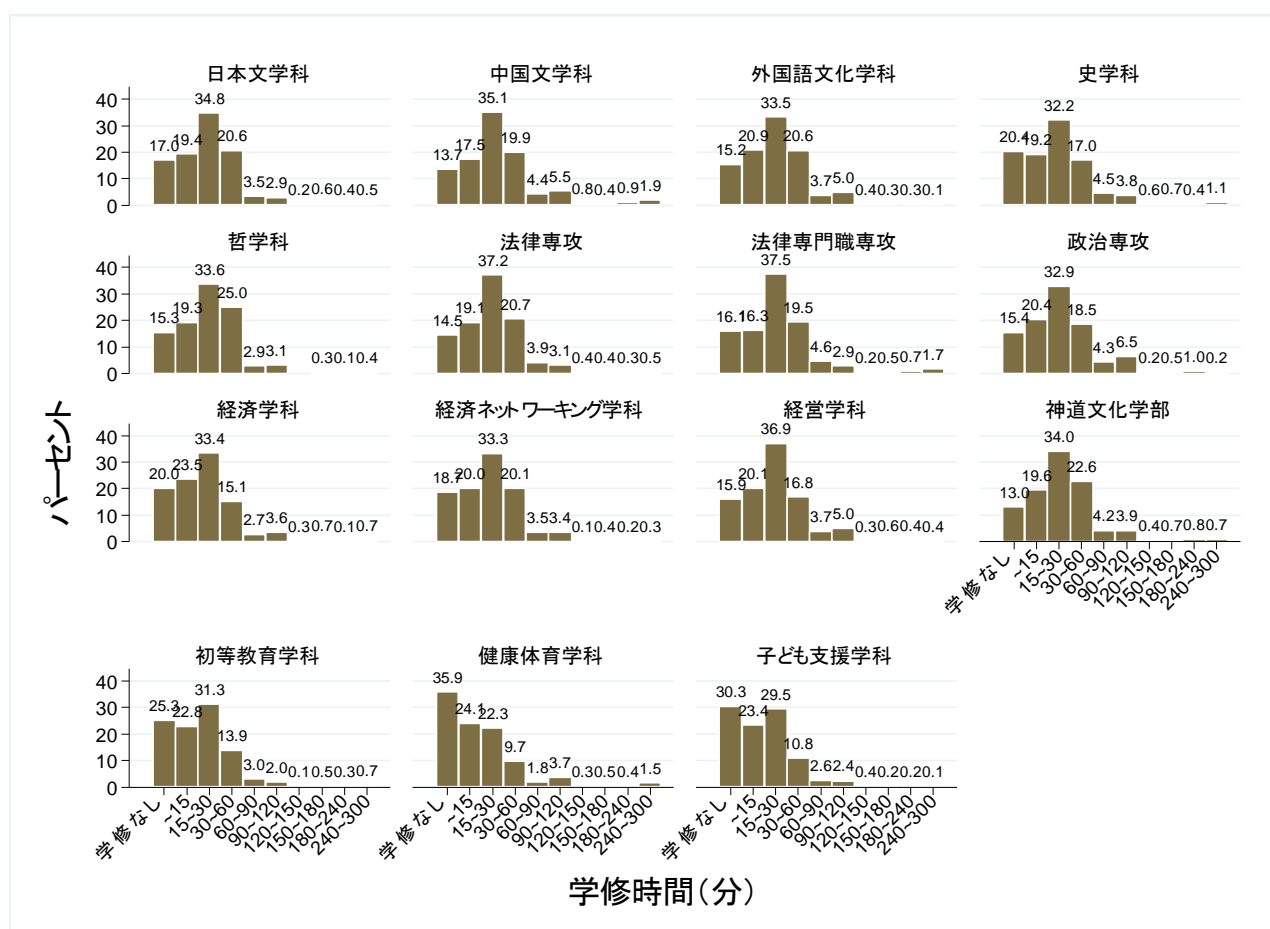
- 次にアンケートに回答してくれた学生の所属学部で区分して、結果を見てみましょう。
- まず平均値を見ると、文学部学生が34.1分、法学部生が34.0分、経済学部生が31.5分、神道文化学部生が37.2分、人間開発学部生が25.5分でした。
- 次に分布の状況を見ると、人間開発学部を除き、「15分～30分以内」と回答した学生が最も多くを占めていました。これに続いたのも文学部、法学部、経済学部、神道文化学部は共通しており、「15分以内」でした。人間開発学部では「学修なし」が最も多く、その次が「15分～30分以内」でした。



学生の所属学部別にみた授業外学修時間の分布

4-3 回答学生の所属学科別

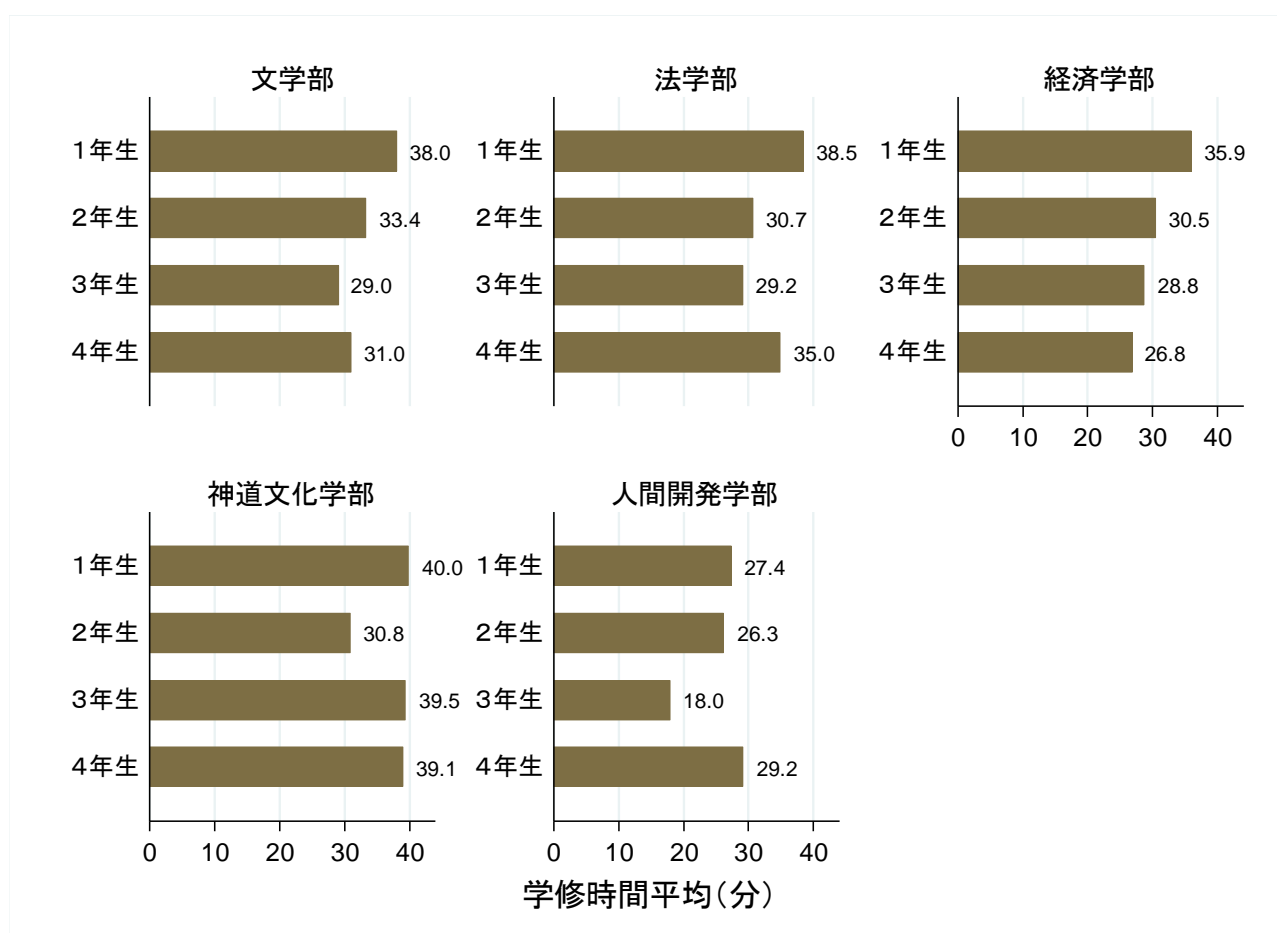
- さらに学科・専攻別に見ることで、より詳細に結果を確認してみましょう。
- 健康体育学科と子ども支援学科を除き、やはり学科・専攻単位でも「15分～30分以内」と回答した学生が、多くを占める結果となりました。
- 「30分～60分以内」と回答した学生は、最大でも25.0%（哲学科）にとどまり、概ね10%～20%程度という結果となりました。
- 「60分～90分以内」となると、さらに割合は少なくなり、ほぼすべての学科（専攻）で5%未満となることが確認されました。



学生の所属学科・専攻別に見た授業外学修時間の分布

4-4 回答学生の学年・所属学部別

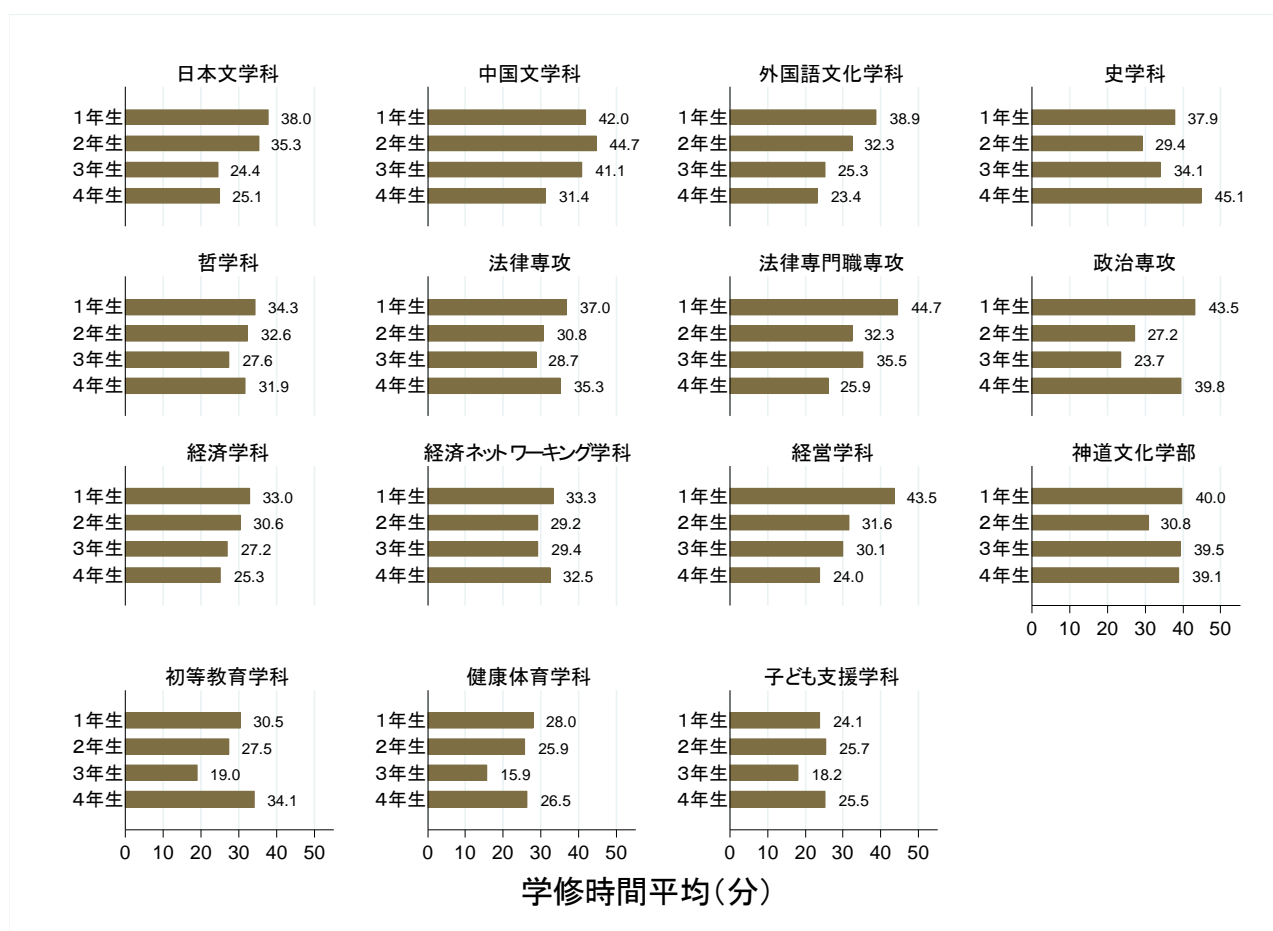
- ここからは回答学生の学年にも注目して、学部別に分布を見てみましょう。
- 下の図を見ると、学年別に見た授業外学修時間の平均値の分布は、学部によって異なることがわかります。
- 全体的な傾向としては、どの学部でも1年生の授業外学修時間が相対的に大きい点です。この点は平成28年度後期学生による授業評価アンケート結果とは大きく異なる点でした。
- また神道文化学部を除き、1年生をピークに、2年生、3年生と学年が進むに連れて授業外学修時間が減少している傾向も確認できました。



学生の所属学部と学年別に見た授業外学修時間の平均値

4-5 回答学生の学年・所属学科別

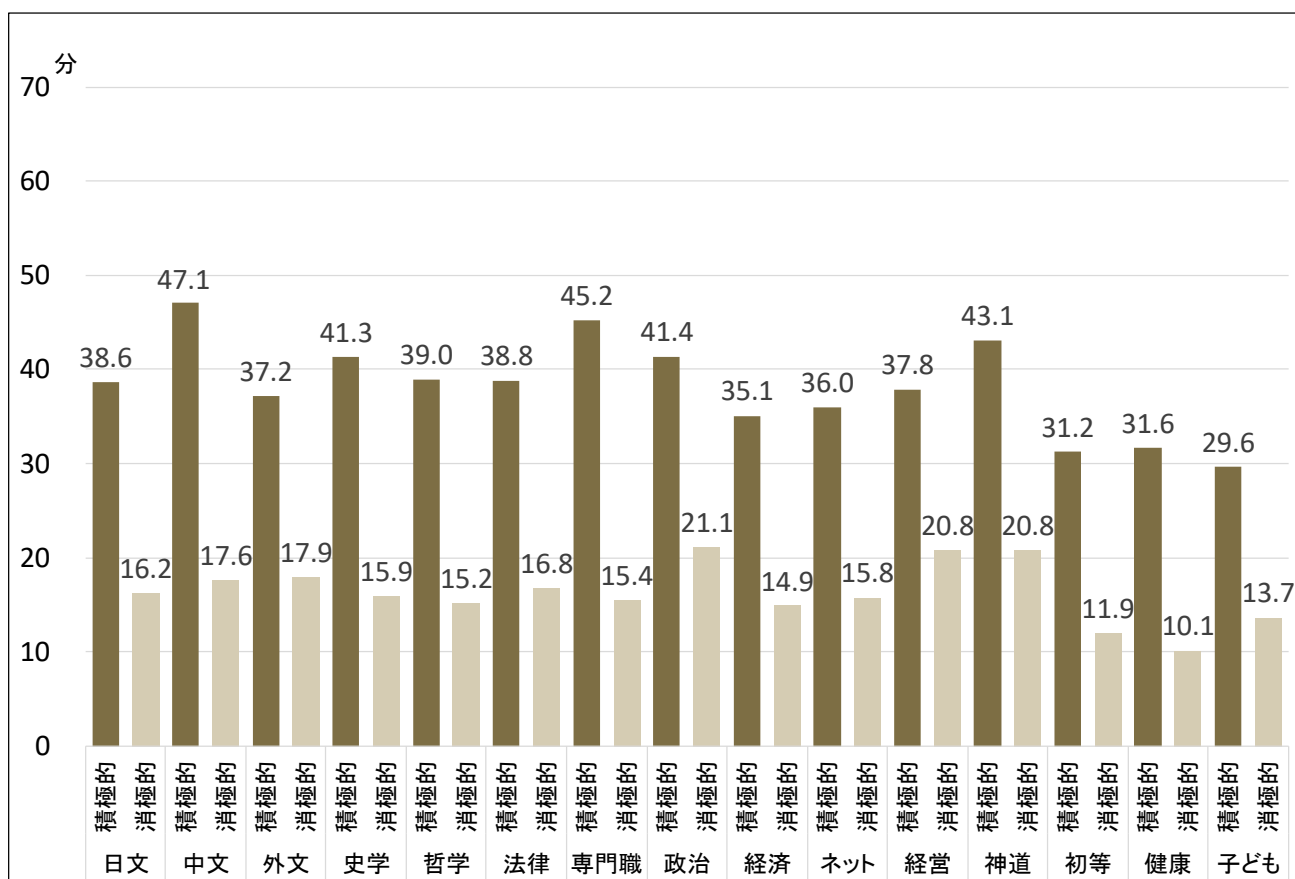
- 4-4 に続いて学科・専攻別に見たものが下の図です。
- 図を見ると、同一学部内における違いが確認できました。一例として文学部では、日本文学科と外国語文化学科は減少型、中国文学科は山型、史学科と哲学科は谷型に分布していることがわかりました。
- ただし全体的な傾向としては、やはり、2年生の授業外学修時間が1年生より減少する傾向にあることが確認できました。2年生の授業外学修時間が1年生より増えていた学科・専攻は、中国文学科と子ども支援学科のみでした。
- 4年生の授業外学修時間にも学科・専攻によって差が顕著でした。



学生の所属学科・専攻と学年別にみた授業外学修時間の分布

4-6 学生の授業に対するかまえと授業外学修時間

- 下の図は、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」の回答結果と、Q15の授業外学修時間との関係を、学科・専攻別に検討した結果を示したものです。
- Q10で「かなりそう思う」と「そう思う」と回答したものを「積極的」とし、「あまりそう思わない」と「思わない」と回答したものを「消極的」としました。
- 「積極的」と回答した場合の平均値は、最大が中国文学科の47.1分で、最小が子ども支援学科の29.6分でした。一方で「消極的」と回答した場合の平均値は、最大が政治専攻の21.1分で、最小が健康体育学科の10.1分でした。

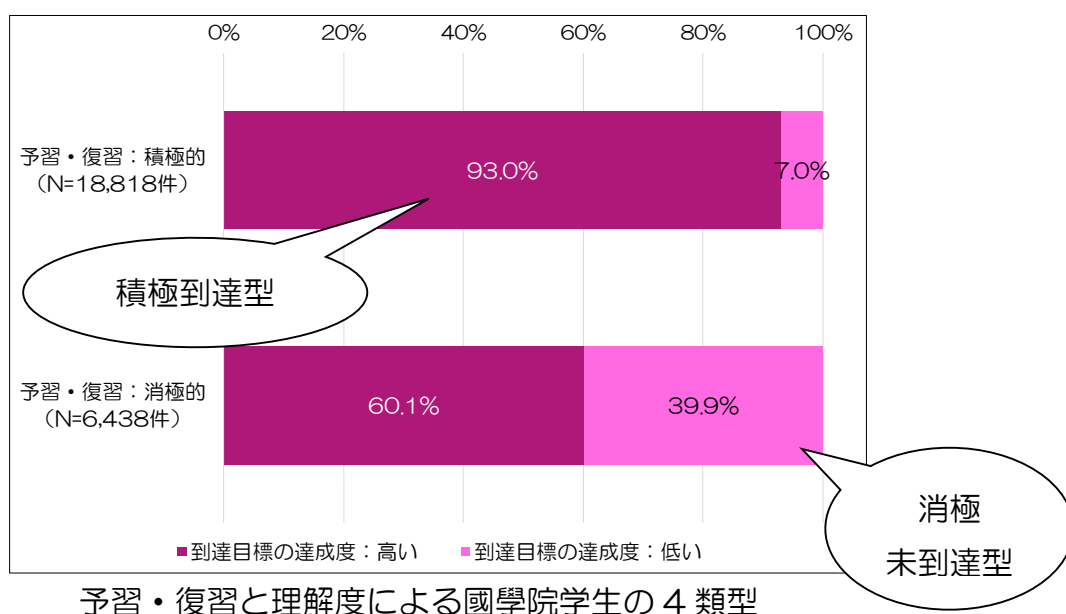


予習・復習の取組状況と学科・専攻別にみた授業外学修時間の平均値

4-7 学生の授業に対するかまえと到達目標の達成度による分析

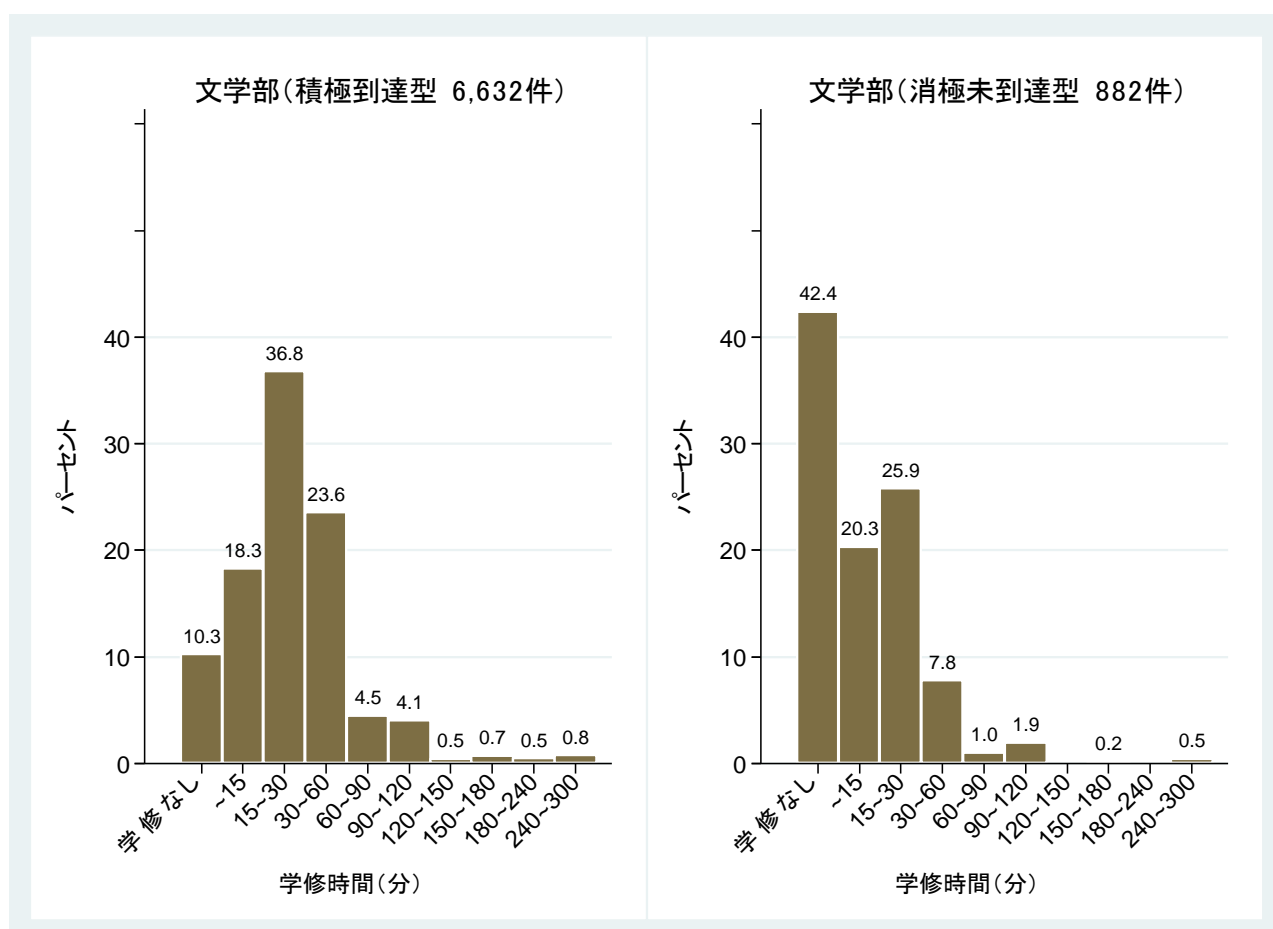
- ここではQ10と、Q13とを用いて、「学生の授業に対するかまえ」と「到達目標の達成度」（内容理解）との関係を検討してみます。
- 下の表と図は同じものを示しています。予習・復習への取り組みが積極的であると回答した学生では、その93.0%が到達目標を達成したと回答しています（積極到達型）。
- 一方で消極的であると回答した学生では、到達目標を達成したと回答した学生が60.2%にとどまり、到達目標の達成度が低いと認識した学生が39.9%という結果になりました（消極未到達型）。

		到達目標の達成度		合計
		低い	高い	
予習・復習 への取り組み	積極的	1,314件 7.0%	17,504件 93.0%	18,818件 100%
	消極的	2,568件 39.9%	3,870件 60.1%	6,438件 100%
合計		3,882件 15.4%	21,374件 84.7%	25,256件 100%



4-8 学生の授業に対するかまえと到達目標の達成度からみた授業外学修時間の分布 【文学部】

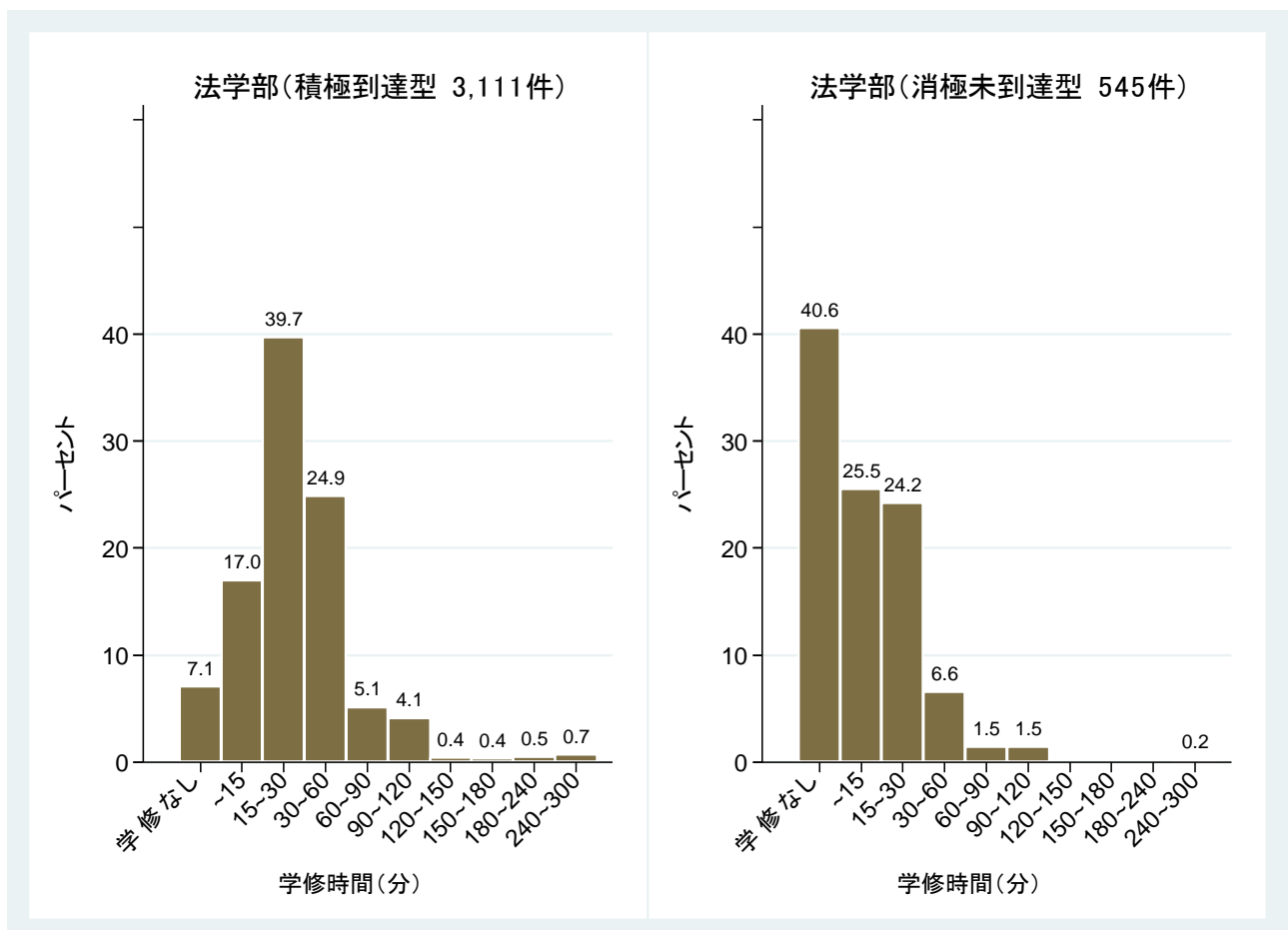
- 4-7では、「積極到達型」と「消極未到達型」の分類を検討しました。
- ここからは学部ごとにその分類を用いて、授業外学修時間の分布を検討します。
- 下の図は、アンケートに回答した文学部生を対象に検討した結果です。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は 38.9 分で、最多は「15 分～30 分以内」の 36.8% であり、それに「30 分～60 分以内」の 23.6% が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は 18.2 分で、最多は「学修なし」の 42.4% であり、それに「15 分～30 分以内」の 25.9% が続きました。



積極到達型と消極未到達型の授業外学修時間の分布：文学部

【法学部】

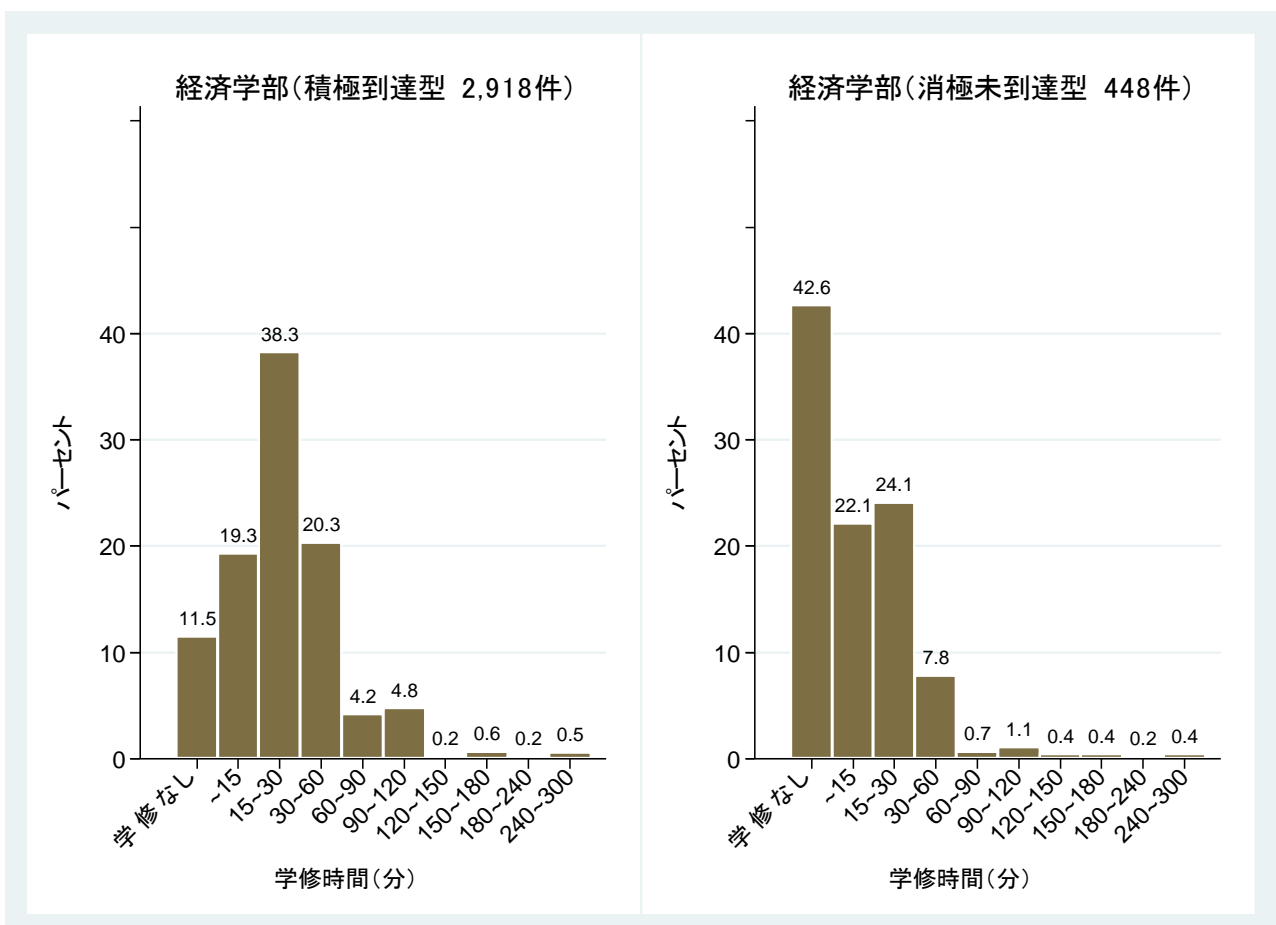
- 下の図は、アンケートに回答した法学部生を対象に検討した結果です。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は 39.5 分で、最多は「15 分～30 分以内」の 39.7%であり、それに「30 分～60 分以内」の 24.9%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は 16.2 分で、最多は「学修なし」の 40.6%であり、それに「15 分以内」の 25.5%が続きました。



積極到達型と消極未到達型の授業外学修時間の分布：法学部

【経済学部】

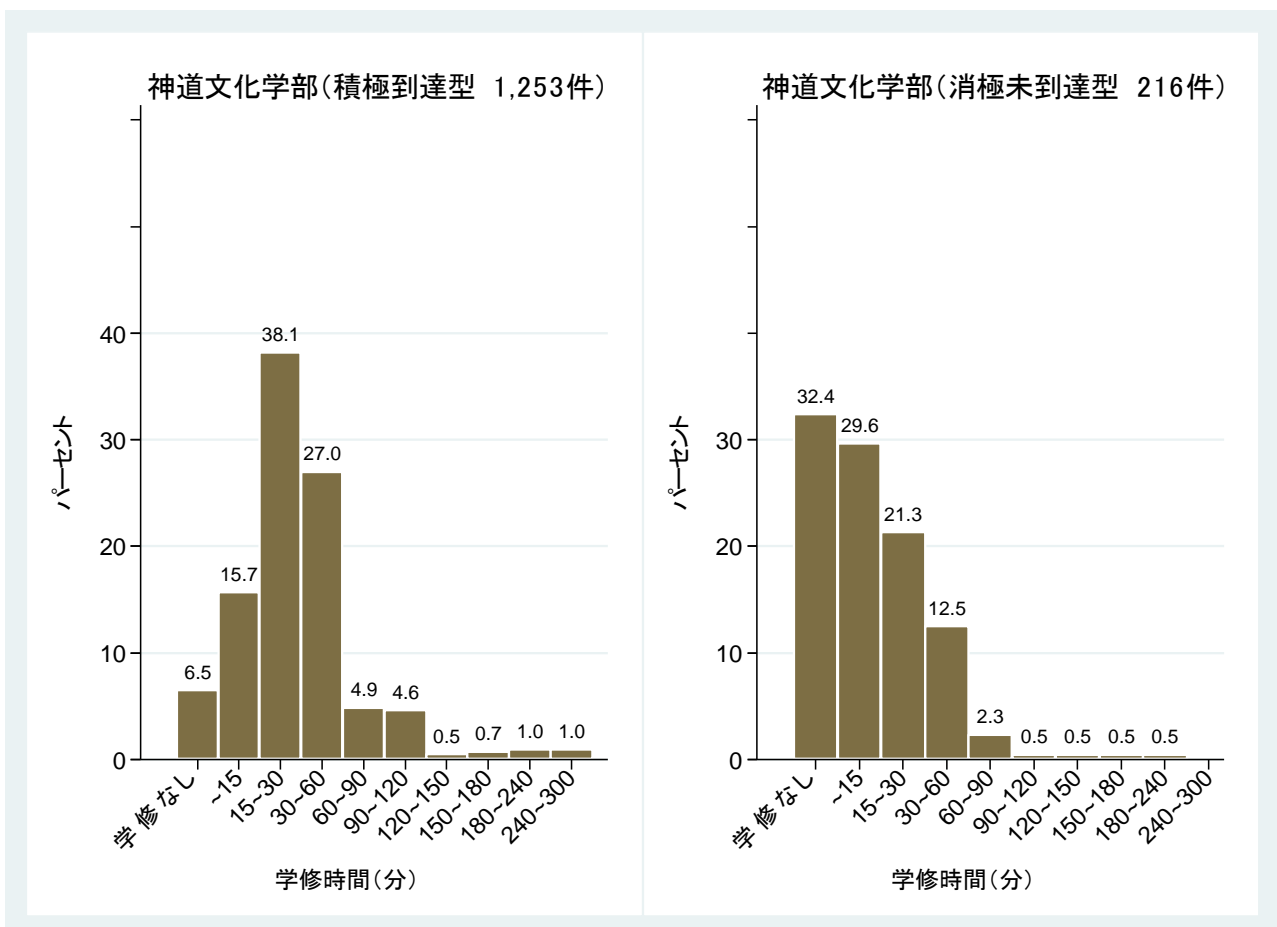
- 下の図は、アンケートに回答した経済学部生を対象に検討した結果です。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は 36.1 分で、最多は「15 分～30 分以内」の 38.3%であり、それに「30 分～60 分以内」の 20.3%で続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は 18.0 分で、最多は「学修なし」の 42.6%であり、それに「15 分～30 分以内」の 24.1%が続きました。



積極到達型と消極未到達型の授業外学修時間の分布：経済学部

【神道文化学部】

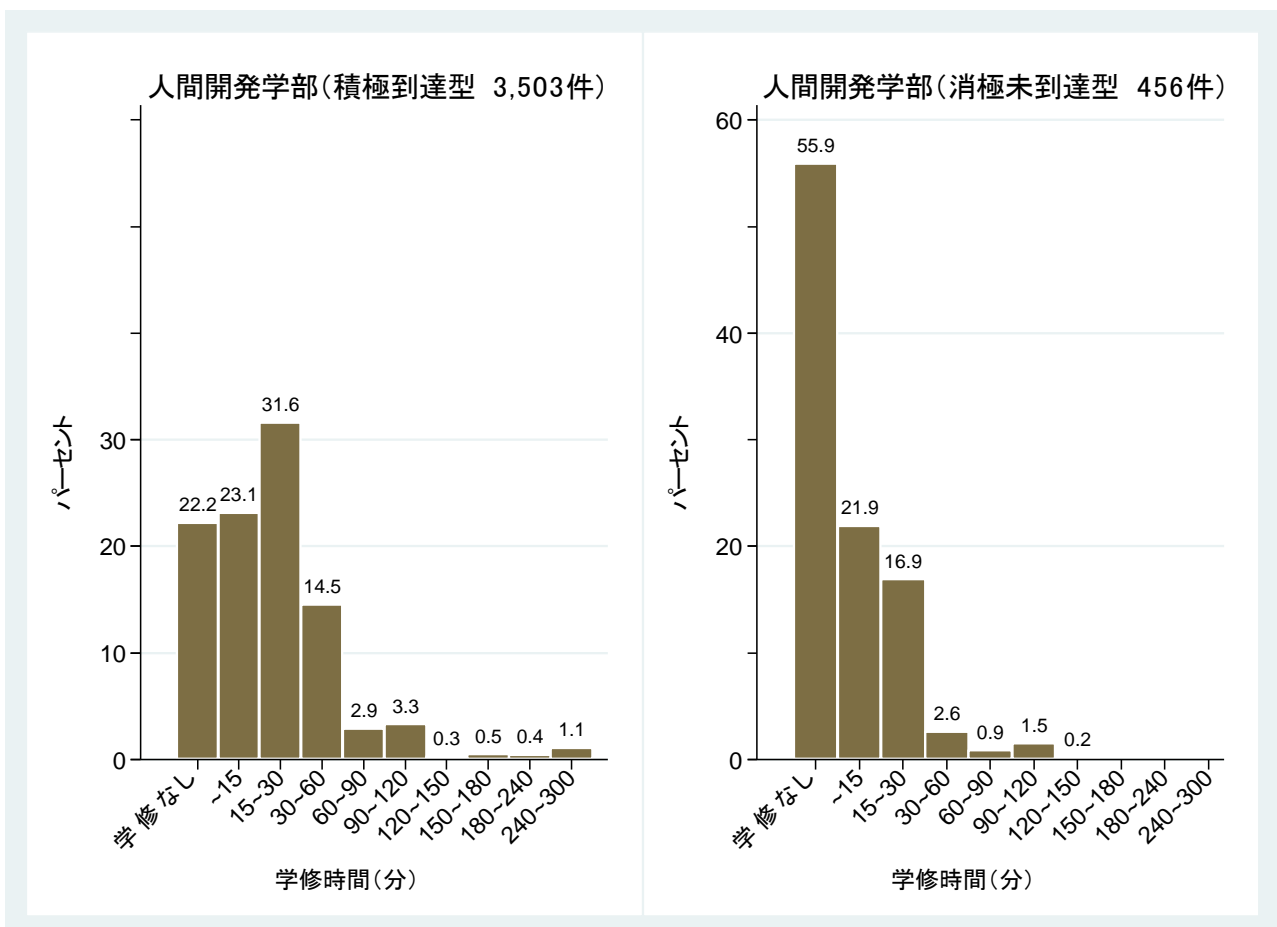
- 下の図は、アンケートに回答した神道文化学部生を対象に検討した結果です。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は 42.8 分で、最多は「15 分～30 分以内」の 38.1% であり、それに「30 分～60 分以内」の 27.0% が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は 20.7 分で、最多は「学修なし」の 32.4% であり、それに「15 分以内」の 29.6% が続きました。



積極到達型と消極未到達型の授業外学修時間の分布：神道文化学部

【人間開発学部】

- 下の図は、アンケートに回答した人間開発学部生を対象に検討した結果です。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は 30.8 分で、最多は「15 分～30 分以内」の 31.6% であり、それに「15 分以内」の 23.1% が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は 11.0 分で、最多は「学修なし」の 55.9% であり、それに「15 分以内」の 21.9% が続きました。



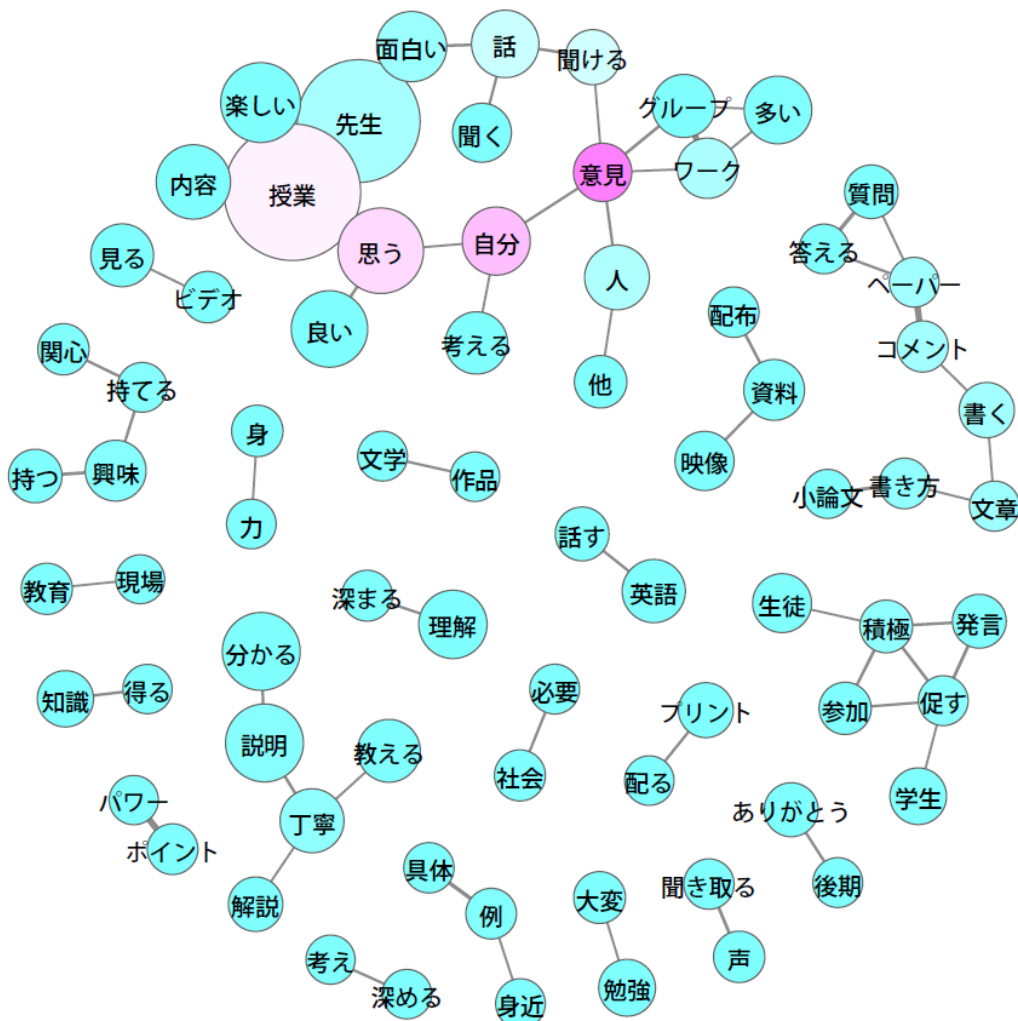
積極到達型と消極未到達型の授業外学修時間の分布：人間開発学部

5. 自由記述設問の検討

【Q16 あなたがこの授業でとても良いと思ったこと】

- 下の図は、Q16「あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。」についてテキスト分析を行い、その自由記述の中に見られた頻出語の共起関係を示したものです。
- これによると、「意見」といった語を中心として、記述のまとまりを確認することができます。例えば「グループワークは話す機会ができて、とても良かったです。他の人の意見をすぐ聞くことができるので、自分の考えを改めて整理することができました」などの声がありました。
- 他にも「丁寧」、「積極」、「解説」等の声が多かったことも確認できました。

注：KH Coder を用いて教育開発推進機構で分析。

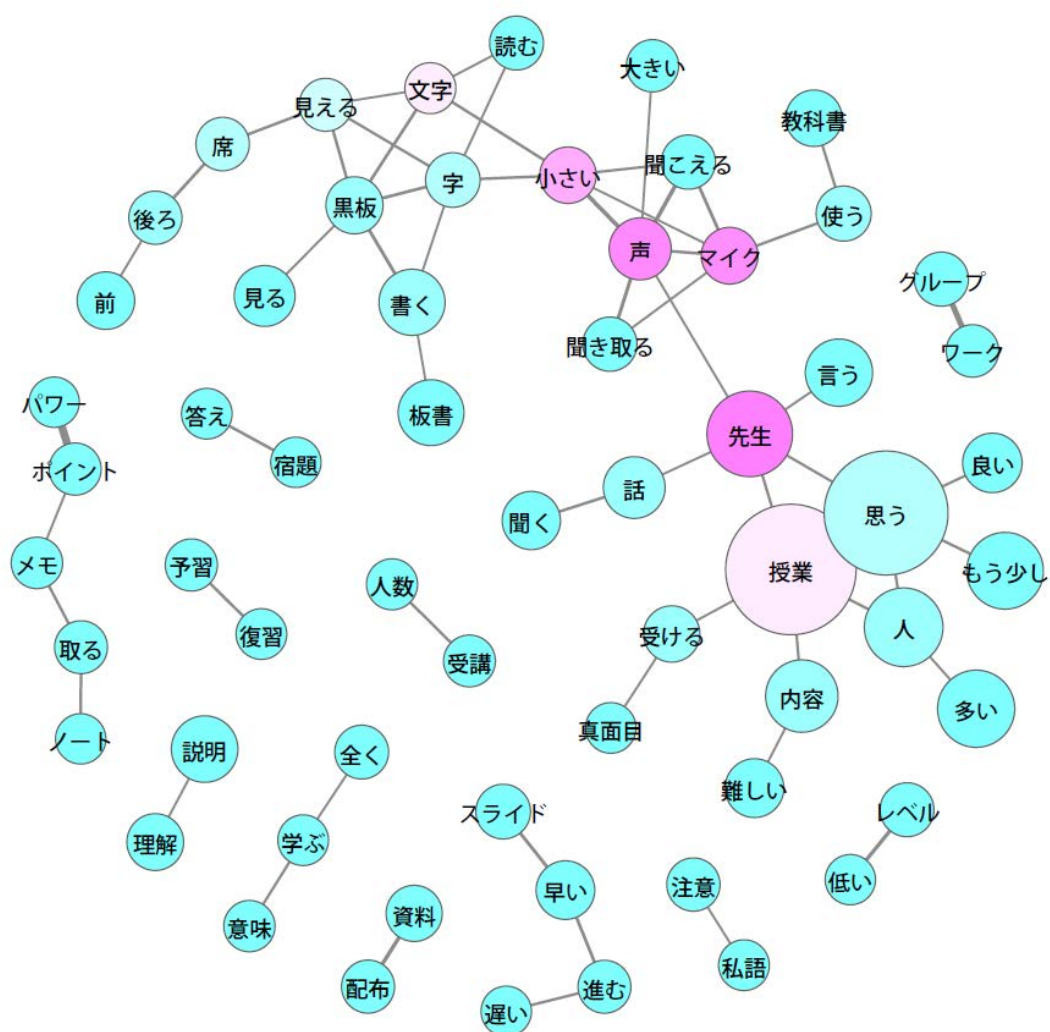


肯定的意見に見られた頻出語の共起関係

【Q17 あなたがこの授業で改善したほうが良いと思ったこと】

- 下の図は、Q17「あなたがこの授業で改善したほうが良いと思ったことを書いてください。」についてテキスト分析を行い、その自由記述の中に見られた頻出語の共起関係を示したものです。
- これによると、「授業」、「先生」、「声」などの語を中心とする記述のまとまりが確認できます。例えば「先生が一方向的に喋って、受け身の授業だったので、もう少し興味を持てるような内容にしてほしかった」などの声がありました。
- 他にも「黒板」、「見える」、「文字」といったまとまりや、「私語」、「注意」など、授業運営において重要と思われる指摘が、多々あることが確認できました。

注：KH Coder を用いて教育開発推進機構で分析。



消極的意見に見られた頻出語の共起関係

6. まとめ

これまで平成 29 年度前期授業評価アンケートについて、設問別にいくつかの観点から集計と分析を試みました。ここでは「まとめ」として、これまでの集計結果を簡潔に整理しておきたいと思います。

- 「2. 集計結果」では、Q15 の授業外学修時間と Q16、Q17 の自由記述を除く設問項目について検討してきました。それによると、全体的な傾向としては、総じて学生からは肯定的な回答（肯定回答が 80%以上）を得ていると考えることができるようです（2-1）。
- ただし肯定回答が 80%を下回る設問項目が見られたのも事実です。個々の設問項目を見れば、Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」は、双方向型の授業を実現する上で、肯定回答の割合が高いことが望まれる設問項目です。Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」についても、学生に適切な課題を提示し、学修内容の理解とその定着を実現する上で、同じく肯定回答の割合が高いことが望まれます。この Q6 の回答結果が、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」に関係していると言っても過言ではありません。また平成 29 年度後期学生による授業評価アンケート結果と比較すると、上記の 3 つの設問に加え、Q4「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」も肯定回答が 80%を下回る結果となりました。シラバスの事前確認の有無は、授業内容の理解という点からも極めて重要な点です。
- 以上を踏まえると、全体的な傾向として学生からは肯定的な回答を得ていると言えますが、学士課程教育の質保証という観点に立てば、教員一人ひとりによる自身の授業への振り返りが依然として必要であると言えます（2-1）。

- これまでと同様に、Q13 と Q14 の結果から、到達目標の達成度及び満足度から見たベスト 30 を算出しました。専任教員と兼任教員とを総合した結果を見ると、到達目標の達成度ベスト 30 では、専任教員が 19 名、兼任教員が 11 名という結果になりました。また満足度ベスト 30 でも同様に、専任教員が 19 名、兼任教員が 11 名という結果になりました。（2-2）

- アンケートの回答件数が合計して 20 件以上の教員を対象に、到達目標の達成度、満足度、授業外学修時間とで教員の分布を行ったところ、専任教員は満足度で約 2.4～3.8、到達目標の達成度で約 2.3～3.5 の範囲で分布していました。平成 28 年度後期学生による授業評価アンケートの結果と比較すると、満足度、到達目標の達成度ともに、ばらつきが大きくなる傾向にあったようです（2-3）。
- 一方で、兼任教員は満足度で約 2.3～3.9、到達目標の達成度で 2.3～3.7 の範囲で分布していました。授業外学修時間に関しては、兼任教員の場合は専任教員の場合と比べて、それほどばらつきが大きい傾向にあるようです（2-3）。

- 2-1 の結果を踏まえて、3-2～3-5 では、肯定回答が 80%を下回った設問項目について、クロス集計による検討を行いました。
- 3-2 では、学年別にシラバスの事前確認の有無について検証しました。その結果、1 年生の 30.8%はシラバスを読んで授業に臨んでいない結果となりました。対して学年が上がるに連れてその数字は改善されており、4 年生ではわずか 9.8%となっていました。1 年生に対しては、シラバスの事前確認の必要性を強調することが求められると言えそうです。
- 3-3 では、教員の指示と学生に授業に対する構えについて検討しました。その結果、教員が予習・復習の指示を出したか否かで、学生の予習・復習への取り組みといった授業に対するかまえに、大きな差が生じることが明らかになりました。教員が予習・復習の指示を出した場合には、86.4%の学生が予習・復習をするなどして意欲的に取り組んだと回答しました。それに対して教員が予習・復習の指示を出していない場合には、わずか 35.0%の学生しか予習・復習に取り組んでいないことが明らかになりました。
- 3-4 では、教員の授業の進め方と到達目標の達成度合いについて検討しました。その結果、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施するか否かで、学生が授業の到達目標を達成したと認識する度合いに、大きな差が生じることがわかりました。教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施した場合には、87.9%の学生が授業の到達目標を達成したと認識したと回答しました。それに対して教員が毎回の授業内容を関連付けていないで授業を実施した場合には、わずか 35.6%の学生しか授業の到達目標を達成したと認識していないことが明らかになりました。

- 3-5では、教員の所属別に見た学生への働きかけ（Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」）について検討しました。その結果、学部等によって、小さくない差があることが確認できました。
- 以上の結果について、より詳細な検討が必要であることは、言うまでもありません。ですが、シラバスの事前確認の必要性や、教員の予習・復習等の指示及びその結果としての学生の授業に対するかまえに差が見られたことは、授業運営の振り返りの視点として、重要な指標とすることができます。多様な視点から教員一人ひとりが検討する必要があるとも言えそうです。

- 授業外学修時間の検討も行いました。本学の平成28年度後期授業科目における授業1回あたりの授業外学修時間の平均値は、32.1分でした。ちなみに1年前の平成28年度後期のそれは33.0分でしたので、集計上は微減という結果になります（4-1）。なお学部別（4-2）、学科・専攻別（4-3）に分布をみると、ほとんどの集計区分で「15分～30分以内」と回答した割合が、最も多い傾向にありました。学部学科に加えて、回答した学生の学年にも注目すると、その分布は、増加型や減少型など幾つかの傾向にあることが見て取れました。また多くの学科・専攻で、2年生の授業外学修時間が1年生より減少することが確認できました（4-4及び4-5）。
- 学生の授業に対するかまえと授業外学修時間との関係についても検討しました（4-6）。授業の対する構えが積極的な学生と、そうでない学生とでの授業外学修時間の差は、とても大きく、また学科によってもその差が一様でないことが明らかになりました。
- その授業に対するかまえについて、到達目標の達成度を考慮し、クロス集計を行いました。そこから予習・復習への取り組みが積極的で、到達目標の達成度合いを高く認識する学生を「積極到達型」、予習・復習への取り組みが消極的で、到達目標の達成度合いを低く認識する学生を「消極未到達型」として、学部別に授業外学修時間の検討を行いました（4-7及び4-8）。その結果、「積極到達型」では、「15分～30分以内」と回答したケースが多くを占め、「消極未到達型」では、「学修なし」と回答したケースがかなりの割合を占めていました。

- 今回の報告書では自由記述設問の大まかな検討を行いました。
- Q16「あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください」では、「意見」、「丁寧」、「積極」などといった言葉を中心に、記述のまとまりを確認することができました。例えば、「グループワークは他の人の意見をすぐ聞くことができるので、自分の考えを改めて整理することができた」、「積極的な発言や参加を促す」などといった記述が散見されました。
- Q17「あなたがこの授業で改善したほうが良いと思ったことを書いてください」では、「授業」、「先生」、「声」、「黒板（板書）」などといった言葉を中心に、記述のまとまりを確認することができました。例えば、「先生が一方的に喋って、受け身の授業だった」、「マイクの声が小さく聞き取りにくい」、「黒板（板書）の文字（字）が見にくい」などといった記述が散見されました。

以上が平成 29 年度前期学生による授業評価アンケートの集計結果から明らかになったことです。肯定回答が十分に得られなかった設問項目については、教員一人ひとりの振り返りまたは改善が求められると言えそうです。授業外学修時間についても、どのような内容で、どの程度の時間を確保するかについて検討が必要だと思われます。これについては学生の皆さんが履修する個々の授業科目での検討はもちろん、履修登録したすべての授業科目を考慮したカリキュラムレベルでの検討も求められます。さらには授業以外の生活時間との兼ね合いも考慮しなければなりません。教育開発推進機構では、各学部の先生方に授業外学修時間の確保と授業内容について意見交換を行い、その成果の一端をすでに報告していますが、今後も本学学士課程教育の実質化を目指して、検討を重ねていきたいと思っています。

最後に平成 29 年度前期学生による授業評価アンケートへご協力いただいた先生方、そして何よりも真摯に回答して下さった学生の皆さんに心よりお礼申し上げます。

資料編

集計データ

1. 回答者のプロフィール

● 学年

学年	回答件数	%	男性		女性	
			回答件数	対全体%	回答件数	対全体%
1年生	10,366	41.0%	5,227	20.7%	5,139	20.3%
2年生	3,821	15.1%	3,821	15.1%	3,949	15.6%
3年生	2,648	10.5%	2,648	10.5%	2,532	10.0%
4年生	1,178	4.7%	1,178	4.7%	762	3.0%
合計	25,256	100.0%	12,874	51.0%	12,382	49.0%

● 所属学部

学部	回答件数	%	男性		女性	
			回答件数	対全体%	回答件数	対全体%
文学部	9,481	37.5%	3,926	15.5%	5,555	22.0%
法学部	4,541	18.0%	2,901	11.5%	1,640	6.5%
経済学部	4,161	16.5%	2,711	10.7%	1,450	5.7%
神道文化学部	1,887	7.5%	1,214	4.8%	673	2.7%
人間開発学部	5,186	20.5%	2,122	8.4%	3,064	12.1%
合計	25,256	100.0%	12,874	51.0%	12,382	49.0%

● 所属学科

学部	回答件数	%	男性		女性	
			回答件数	対全体%	回答件数	対全体%
日本文学科	3,886	15.4%	1,142	4.5	2,744	10.9
中国文学科	530	2.1%	215	0.9	315	1.2
外国語文化学科	1,340	5.3%	377	1.5	963	3.8
史学科	2,977	11.8%	1,848	7.3	1,129	4.5
哲学科	748	3.0%	344	1.4	404	1.6
法律専攻	3,701	14.7%	2,400	9.5	1,301	5.2
専門職専攻	417	1.7%	211	0.8	206	0.8
政治専攻	423	1.7%	290	1.1	133	0.5
経済学科	1,515	6.0%	1,034	4.1	481	1.9
経済ネットワーク学科	1,292	5.1%	845	3.3	447	1.8
経営学科	1,354	5.4%	832	3.3	522	2.1
神道文化学科	1,887	7.5%	1,214	4.8	673	2.7
初等教育学科	1,521	6.0%	626	2.5	895	3.5
健康体育学科	2,007	7.9%	1,399	5.5	608	2.4
子ども支援学科	1,658	6.6%	97	0.4	1,561	6.2
合計	25,256	100.0%	12,874	51.0	12,382	49.0

● 単純集計表

【学士課程教育全体】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	38.1%	49.9%	8.9%	3.1%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	36.4%	42.7%	15.3%	5.6%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	40.4%	49.9%	7.0%	2.7%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	28.7%	49.9%	15.6%	5.8%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	32.1%	59.8%	6.0%	2.1%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	29.8%	47.0%	18.2%	5.0%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	28.4%	53.9%	13.8%	3.9%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	39.4%	53.0%	5.6%	2.0%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	38.9%	54.8%	4.6%	1.7%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	25.4%	49.1%	20.2%	5.3%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	26.4%	57.8%	11.9%	3.9%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	37.3%	50.5%	8.7%	3.5%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	25.2%	59.5%	12.6%	2.7%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	40.2%	49.6%	6.9%	3.3%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		32.1分	30.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

【文学部学生】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	40.3%	49.0%	8.1%	2.5%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	38.3%	40.6%	15.5%	5.7%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	43.2%	49.4%	5.5%	2.0%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	31.7%	50.5%	13.4%	4.4%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	33.7%	59.2%	5.7%	1.5%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	31.4%	45.2%	18.6%	4.9%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	28.9%	54.8%	13.3%	3.0%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	40.8%	52.4%	5.4%	1.5%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	40.3%	54.0%	4.6%	1.2%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	25.9%	50.2%	19.2%	4.8%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	26.7%	58.3%	11.6%	3.3%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	39.7%	49.2%	8.1%	3.0%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	24.9%	60.0%	12.8%	2.4%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	41.6%	49.2%	6.1%	3.1%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		34.1分	30.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、回答した学生の所属学部（この場合は文学部）によって集計した結果である。

【法学部学生】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	34.4%	52.2%	10.0%	3.4%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	34.9%	40.0%	17.0%	8.1%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	35.8%	52.7%	8.5%	3.0%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	30.0%	51.2%	13.3%	5.6%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	32.3%	60.0%	5.9%	1.9%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	30.1%	48.0%	17.1%	4.9%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	24.9%	55.0%	14.4%	5.7%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	37.2%	54.8%	5.8%	2.2%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	36.0%	57.4%	4.7%	1.9%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	25.3%	49.8%	19.3%	5.6%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	23.3%	56.4%	14.8%	5.6%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	32.2%	53.1%	10.2%	4.5%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	23.1%	58.5%	15.0%	3.4%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	36.3%	51.4%	8.2%	4.1%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		34.0分	30.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、回答した学生の所属学部（この場合は法学部）によって集計した結果である。

【経済学部学生】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	35.6%	52.5%	8.4%	3.5%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	32.2%	47.7%	14.4%	5.6%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	37.9%	51.4%	7.5%	3.2%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	28.8%	51.7%	13.9%	5.6%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	33.0%	59.3%	5.3%	2.4%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	28.6%	51.0%	15.8%	4.6%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	26.6%	53.8%	14.9%	4.7%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	36.8%	55.3%	5.7%	2.2%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	36.1%	57.9%	4.0%	2.0%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	23.9%	51.1%	19.6%	5.4%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	26.2%	57.7%	11.8%	4.4%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	33.7%	53.2%	9.3%	3.9%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	25.2%	59.5%	12.0%	3.3%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	38.1%	51.0%	7.3%	3.6%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		31.5分	30.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、回答した学生の所属学部（この場合は経済学部）によって集計した結果である。

【神道文化学部学生】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	36.8%	52.4%	8.5%	2.4%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	33.8%	45.1%	17.4%	3.7%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	43.0%	49.3%	6.0%	1.7%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	25.8%	56.5%	14.3%	3.5%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	32.9%	62.1%	4.1%	0.9%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	28.8%	50.2%	18.2%	2.8%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	25.4%	56.0%	16.1%	2.5%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	37.9%	56.0%	5.1%	1.0%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	38.6%	57.1%	3.8%	0.5%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	21.8%	51.8%	22.1%	4.3%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	22.4%	61.6%	12.2%	3.8%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	36.1%	52.2%	8.7%	3.0%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	20.1%	61.5%	16.0%	2.5%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	39.4%	52.3%	6.4%	2.0%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		37.2分	30.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、回答した学生の所属学部（この場合は神道文化学部）によって集計した結果である。

【人間開発学部学生】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	39.8%	46.6%	9.8%	3.9%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	38.6%	43.9%	13.5%	4.0%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	40.4%	47.6%	8.7%	3.4%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	22.9%	44.0%	23.6%	9.5%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	28.2%	60.6%	8.0%	3.2%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	28.0%	45.0%	20.6%	6.4%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	32.9%	50.5%	12.6%	4.1%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	41.7%	49.7%	6.2%	2.5%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	41.5%	50.9%	5.5%	2.2%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	27.2%	43.9%	22.6%	6.4%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	30.1%	56.6%	9.7%	3.6%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	40.7%	47.8%	8.2%	3.3%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	29.3%	58.7%	9.4%	2.6%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	43.0%	46.6%	7.1%	3.3%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		25.5分	15.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、回答した学生の所属学部（この場合は人間開発学部）によって集計した結果である。

分析・執筆 戸村 理 教育開発推進機構助教

平成 29 年度 教育開発センター委員

(委員長) 柴崎 和夫 教育開発推進機構長・教育開発センター長
仙北谷穂高 教育開発センター副センター長・教学事務部次長
大久保桂子 共通教育センター長・教務部長
青木 豊 文学部教授
安田 恵美 法学部教授
中馬 祥子 経済学部教授
遠藤 潤 神道文化学部准教授
神事 努 人間開発学部准教授
新井 大祐 教育開発推進機構准教授
小濱 歩 教育開発推進機構准教授
戸村 理 教育開発推進機構助教
原田 佳昌 教育開発推進機構事務課課長
佐野 真之 教育開発推進機構事務課主任
大橋 聖加 教育開発推進機構事務課書記

*職名は当時

平成 29 (2017) 年度前期
学生による授業評価アンケート分析報告書

編集・発行 國學院大學 教育開発推進機構
教育開発センター

平成 29 年 10 月 21 日

